

サンフロント21 懇話会

〒410-8560
沼津市魚町1番地 サンフロント5F
静岡新聞社・静岡放送
東部総局内
事務局
TEL.055-962-6520

2025.7.30 No.135

サンフロント21懇話会 30周年記念総会・記念パーティー

■日時 / 2025年6月12日(木) ■会場 / 沼津リバーサイドホテル



サンフロント21懇話会は6月12日、沼津リバーサイドホテルで設立30周年記念総会と記念パーティーを開催した。会員の企業経営者、県・市町長ら行政関係者、県議など約170人が出席し、本年度の活動方針案を承認するとともに、就任後1年の鈴木康友静岡県知事による来賓祝辞に続いて、30周年記念特別事業報告、記念演奏会、記念講演を行った。記念講演では沼津市出身で元サッカー日本代表の小野伸二氏が「県東部、沼津への想い、今後の夢は」と題して話し、「沼津に生まれたことを誇りに思う」と故郷への感謝を語った。また、続いて行われた30周年記念パーティーも多くの会員の皆様にご出席いただき大いに盛り上がった。

主催者挨拶



静岡新聞社・
静岡放送社長
大須賀 紳晃

本日はご多忙の中、当懇話会の記念総会に大勢ご出席賜り、誠にありがとうございました。懇話会の活動は歩を重ね、30周年を迎えました。これもひとえに会員の皆さまの熱意とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

本日の記念総会では、昨年5月に就任され、丸1年を迎えられた鈴木康友静岡県知事を来賓にお迎えしました。「一人ひとりが輝く東部へ」と題し、懇話会30周年の特別記念事業の発表もごございます。また、20市町の広域連携の首長座談会、未来を担う高校生、大学生のワークショップ報告がごございます。沼津東、韮山、富士東の各高校が地域の活性化に向けた高校生の視点で新聞をまとめ、静岡産業大学の県東部出身の学生が、地元を視察し、より魅力ある地域にしていくための解決策を探ってくれました。これら首長座談会、高校生大学生の報告を受け、全体総括を慶應義塾大学の矢作恒雄名誉教授にお願いします。

記念講演会では沼津市出身でサッカー元日本代表の小野伸二さんに、3大会連続ワールドカップ出場を果たし世界で活躍されたお話や、ふるさと沼津のお話をしていただけるものと期待しております。

また本日は、富士山静岡交響楽団の演奏もごございます。こちらもぜひお楽しみください。

サンフロント21懇話会は、県東部伊豆の将来ビジョンとして「ひかり輝く地域づくり」を掲げ歴史を重ね、30周年の節目を迎えました。懇話会は地域活性化策の提言団体として、ここまでいくつかの提言を実現させることが出来ました。

今後も地域の方々を主役に、地域に密着し、活性化に資する提言や研究活動に努めてまいりたいと思っております。皆様方のご支援ご協力をお願いします。

懇話会代表幹事挨拶



静岡中央銀行
代表取締役会長
清野 眞司

サンフロント21懇話会はおかげさまで本日創立30周年を迎えました。この間、静岡県県東部の各エリアそれぞれの地域の特徴を生かした活性化の提言など、官民一体となって取り組んでまいりました。長きにわたる活動を支えてくださいましたのは、会員の皆さまのご理解ご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

さて日経平均株価は年明けからトランプ関税の影響により、乱高下が続いており、今後の経済動向も非常に不透明です。物価の高止まりに加え、国際的な貿易摩擦の激化も懸念され、これらの要因が今後の景気動向にどのような影響を及ぼすか、予断を許さないところでございます。

本日の総会では2025年度の懇話会の具体的な活動方針についてご審議いただき、その後、記念式典に移らせていただきます。

県東部伊豆地域がより一層の活性化を遂げるには、これまで以上に柔軟で独創的な新しい発想が求められます。今後ともあらゆる機会に、皆さまがたに忌憚のないご意見を賜りたく宜しく申し上げます。

来賓祝辞



静岡県知事
鈴木康友氏

本日はサンフロント21懇話会30周年記念総会が盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。30年の長きにわたり、県東部伊豆地域の活性化のため、様々な事業や提言をされ、当地の発展に大いに貢献されたことに、心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

特に、ファルマバレープロジェクトに関しましては、皆さまから御提言をいただき、県として地域企業の医療分野への参入を積極的に支援してまいりました。その結果、これまでに50社以上の企業が参入し、200近い新たな製品が生み出され、静岡県は医療機器生産額15年連続全国一位、医薬品との合計でも全国トップレベルを誇っています。こうした成果は、皆さまからの御提言から生まれたものと、大変感謝しております。

県知事に就任して早1年になります。これまでスピード感を持った県政運営に努めてまいりましたが、近況を含めてお話し申し上げますと、かねてからの懸案であったリニア中央新幹線整備に関しては、大井川の水資源、生物多様性、トンネル発生土の3分野28項目についてJR東海と対話を重ね、うち10項目の対話が完了しております。

中でも最も懸念されていた大井川の水資源については、6項目すべての対話が完了し、一つ大きな山を越えたところです。生物多様性については調査に少し時間がかかりますが、引き続きスピード感を持ちつつ、丁寧にJR東海との対話を進めてまいります。

産業政策では、企業誘致やスタートアップ支援を積極的に推進してまいります。静岡県は何とんでも産業の力で成長した県です。温暖な気候や充実した交通網、日本の真ん中に位置する立地環境などの優位性により、2000年から2024年までの累計工場立地件数は全国一を誇ります。一方で、現状では、企業ニーズに対応できる用地が不足していることから、国の特区制度を活用するなど、市町や県企業局とも連携しながら、新たな産業用地の確保に努めてまいります。また、静岡県は産業の血液とも呼ばれる水資源が豊富なことから、半導体等、新たな成長産業の誘致にも取り組んでまいりたいと思います。

東部伊豆地域は富士山や伊豆半島など豊富な地域資源を有し、大きなポテンシャルを秘めています。これら进行交流人口の拡大や観光振興に繋げるため、現在、伊豆地域で、温泉旅館やホテルをサテライトオフィスに改装してスタートアップ企業を誘致する取組を進めています。第一弾として4施設からスタートしますが、首都圏のスタートアップ経営者からは、「24時間温泉やサウナに入りながら仕事ができるなんて最高だ。」「新しい人材確保やリクルートにも役立つ。」と、大いに期待していただいています。

人口減少に適応していく対策として国が進めているのが「二地域居住」です。東部伊豆地域は首都圏からのアクセスが良好で自然環境にも恵まれており、二地域居住に最適です。外部人材が入ってくることで地域経済の活性化や新たな価値の創造が期待できることから、ぜひ静岡県にもこの波を取り込んでいきたいと思っています。

先般、「静岡県未来創造会議」から、観光の基幹産業化に取り組むべきとの提言をいただきました。富士や伊豆の自然環境を生かし、海外富裕層を新たなターゲットに取り組んでまいります。そのためにも大型クルーザーやスーパーヨットの受入れがカギになります。富士山静岡空港をプライベートジェットの一大集積地にするなど、戦略的に取り組んでまいりたいと思います。

この地域の課題である観光と防災については、新たな施策づくりのため、皆さまからの御要望や御提言をいただき、オール静岡で進めたいと思いますので、引き続きの御理解と御協力をお願いいたします。

サンフロント21懇話会と東部伊豆地域のますますの発展を祈念し、御挨拶とさせていただきます。



30周年記念特別事業報告

一人ひとりが輝く東部へ



30周年記念特別事業 1

県東部20市町首長座談会(映像紹介)

広域連携の今と未来

〈はじめに〉

サンフロント21懇話会は、静岡県東部の20市町とともに、30年にわたって地域の未来を見据えた取り組みを続けてきました。空港や新幹線といった広域インフラの整備、産業・観光・防災といった各分野の課題に向き合いながら、20市町が手を取り合い、ともに歩むことの意味を問い続けてきたのです。

今回の記念式典では、20市町を4つの地区に分け、それぞれの首長による座談会を開催しました。テーマは『広域連携の今と未来』。その内容は新聞紙上でも紹介され、多くの読者に地域の熱意が伝わりました。

伊豆地区ダイジェスト

「伊豆はひとつ」の 未来と広域連携の挑戦

熱海市の斉藤栄市長、伊東市の小野達也市長(当時)、伊豆市の菊地豊市長、そして伊豆の国市の山下正行市長が、観光や防災、そして広域連携の可能性について語りました。

伊豆市の菊地市長は、『伊豆は暮らしと観光が共存しているのが魅力。ガストロノミーツーリズムを通じて、伊豆らしさを発信していきたい』と話しました。また、観光客だけでなく地域住民にも喜ばれるような地産地消の食体験が重要だと述べました。

これを受けて、伊豆の国市の山下市長は『伊豆全体の食材を使った“伊豆フェア”やアンテナショップを展開して、ブランド力を高めたい』と提案し、地域の生産者との連携強化についても触れました。

熱海市の斉藤市長は、観光バスの自動運転化といった新たな移動手段の必要性を強調し、高齢化

社会における交通弱者対策としても有効だと述べました。

さらに、防災では7市6町が連携して巨大地震における交通機関等の対応を統一することで、“安心して訪れられる伊豆”を目指していく、という点で意見が一致しました。

東部地区ダイジェスト

良好なアクセス武器に、 首都圏から選ばれる場所に

沼津市の頼重秀一市長、三島市の豊岡武士市長、清水町の関義弘町長、長泉町の池田修町長、函南町の仁科喜世志町長にお集まりいただきました。

沼津市の頼重市長は、沼津駅の高架化によって、まちの分断を解消し、都市機能の集約を実現したいと話しました。さらに、歩行者の利便性や回遊性を高めることで、中心市街地の賑わいを創出したいと意欲を語りました。

三島市の豊岡市長は、三島駅周辺に研究機関と製造業が集まる、新たな拠点づくりを進めていると紹介。今後はスタートアップ支援施設や異業種連携の場の整備も検討していると述べました。

清水町の関町長は、柿田川ジオパークなど地域資源を活かし、地域の魅力を内外に発信したいと語りました。さらに、地域住民の自然環境に対する理解と誇りを醸成する取り組みの必要性も指摘しました。

長泉町の池田町長は、「人を介した発信」を大切に、より深い情報発信に取り組んでいると話し、地域のキーパーソンを育てることの大切さを強調しました。

仁科町長は、「静岡学」などの学びの場を通じて、移住者や学生とのつながりを広げたいというアイデアを披露し、学びを地域定住につなげる構想も語られました。

交通やまちづくり、情報発信まで、それぞれのまちが連携することで、東部全体の魅力を高めていく構想が語られました。

富士山地区ダイジェスト

富士山の保全と活用へ ～循環型社会の構築目指す

富士山地区は、富士宮市の須藤秀忠市長、富士市の小長井義正市長、御殿場市の勝又正美市長、裾野市の村田悠市長、小山町の込山正秀町長の5人です。

富士宮市の須藤市長は、『富士山周辺の体験型観光を年間通じて強化し、インバウンド誘客を図りたい』と語りました。特に、環境教育や修学旅行などの受け入れ強化が重要だとしています。

富士市の小長井市長は、サイクルツーリズムなど多様な観光資源を『富士山ブランド』として一体化したいと述べ、広域での情報発信の必要性も強調しました。

御殿場市の勝又市長は、宿泊施設と観光施設の連携を促進し、広域的な誘客の仕組みを構築したいと語りました。具体的には、共通予約サイトや送迎サービスの導入も視野に入れています。

小山町の込山町長は、高級ホテルの開業が進む今、広域での観光提案力が問われていると指摘し、行政と民間が連携するプラットフォームづくりの必要性を訴えました。

裾野市の村田市長は、合宿誘致と森林保全を融合

させた持続可能な地域づくりを進めたいと話し、企業研修や教育旅行との連携強化にも意欲を見せました。

このほか、J-クレジットや森林資源の活用を軸に、脱炭素社会のモデルエリアを構築することを確認しました。

賀茂地区ダイジェスト

地域の力を束ねて未来へ、 6首長が語る連携戦略

賀茂地区は下田市の松木正一郎市長、東伊豆町の岩井茂樹町長、河津町の岸重宏町長、南伊豆町の岡部克仁町長、松崎町の深沢準弥町長、西伊豆町の星野浄晋町長の6人。

防災について東伊豆町の岩井町長は、能登半島地震を教訓に『孤立集落ではなく、自立集落』を目指すべきと話し、下田市の松木市長は、道路インフラの強化によって、災害に強い地域をつくることが重要だと語りました。

河津町の岸町長は、イベントをきっかけに地域間の周遊連携を強めたいとし、松崎町の深沢町長は、体験型観光とDXを組み合わせ、若者にも響く観光スタイルを目指す述べました。

南伊豆町の岡部町長は、再生可能エネルギーと農業を組み合わせ、観光と地産地消を両立させたいと構想を語り、西伊豆町の星野町長は、不便さをあえて価値として打ち出し、SNSでの発信で新しい魅力づくりに挑戦すると意気込みを見せました。

それぞれのまちの個性を活かしながら、連携によって地域全体を底上げしていく姿勢が印象的でした。

賀茂地区では、若者や移住者との接点づくりも大きなテーマです。観光や農業に加え、教育や住環境の整備といった暮らし全体を支える施策を、各自治体が模索しています。豊かな自然と独自の文化を持つ賀茂地域ならではの魅力を、次世代へとつなげるための挑戦が続いています。

高齢化の進む中山間地域においては、“持続可能な生活圏”の確保も重要な課題です。医療・交通・買い物など、日常に必要な機能をどう維持・補完するか。その鍵となるのが、やはり市町村間の連携と民間との協働です。

〈おわりに〉

“隣り合う”から“つながる”へ。そして、そこから“共に未来を築く”へ。

地域の個性を尊重しながら、共通の課題には知恵を持ち寄り、行動で応える。それが、サンフロント21懇話会の目指す“広域連携”のかたちです。

この30年、私たちは変化のただ中にいました。産業構造の転換、人口の減少、災害の激甚化…。地域の未来に立ち向かうために、行政だけでなく、民間企業、大学、NPO、そして地域住民が一体となって考え、動く機運が高まってきたのです。

その一つひとつの積み重ねが、東部全体に広がる“人と人とのつながり”となり、今や多くの新しいプロジェクトが生まれています。そして今、地域の未来を担う若者や子どもたちに、このバトンをどう渡していくのが、次の大きなテーマとなっています。

本特別事業が、皆さまの地域づくりや未来構想に、少しでもヒントとなれば幸いです。

30周年記念特別事業 2-1

高校生ワークショップ活動報告(映像報告)

生き生きと輝く地域

静岡県東部にある沼津東高校、韮山高校、富士東高校の3校新聞部員が、10年後を見据えた輝く地域づくりを共通テーマに、新聞作りに取り組みました。

沼津東高校のテーマは「シェアサイクリングの拡充で新たな観光を」。長泉町やシェアサイクリング事業を展開する加和太建設取材し、観光面でのシェアサイクルの可能性に注目し、JR三島駅を起点に柿田川周辺や沼津港を経由してJR沼津駅に至る独自のサイクリングルートを考案しました。

韮山高校のテーマは「廃校活用で地域に賑わいを」。日本各地で少子高齢化が加速し、廃校の数も

増加しています。維持管理や活用方法に課題がある中、新たな施設として生まれ変わり、地域活性化の拠点となった事例もあります。実際にそれらを取材し、若者の雇用創出や地元住民の交流の場として活用することで、地域振興につながると考えました。

富士東高校のテーマは「輝くふるさとを目指して～これからの地域を担う中高生」。まちづくりに取り組む高校生に焦点を当て、富士宮高校会議所や富士市高校生議会取材し、地元の未来を担おうと奮闘するのを見て、取材した彼ら自身もその活動を自分事としてとらえるようになったと言います。



30周年記念特別事業 2-2

大学生ワークショップ活動報告

東部伊豆地域の将来構想について、静岡産業大学東部伊豆サークルの6人が登壇し、発表しました。彼らは全員、県東部伊豆地域の出身で、ふだん何気なく暮らす地域の地域課題にしっかり向き合おうと、沼津駅周辺中心市街地、沼津港周辺、三島駅周辺、富士吉原本町商店街、三島市中心市街地、三嶋大社周辺、伊豆の国市の伊豆長岡温泉や葦山地域等を調査しました。

以上の地域調査から、東部伊豆地域の特性として3つを発見しました。

- ① 大小様々な都市が混在し、各都市に観光資源があり、人情が豊か。
- ② 市街地と観光施設が近接し、観光地の側に商店街や住宅地がある珍しい地域。
- ③ 商店街に地域再生のイノベーションやユニークな取組みがある。

そこで以下の提案がありました。

① 遊×職

観光資源と仕事を掛け合わせたワーケーション。製造業や農業など仕事場を観光地化する産業観光も有望。

② 遊×活

観光資源を日常生活の中に取り入れ、くつろぎ空間を提案。地域住民向けに観光施設や温泉施設の年間パスポートや回数券を配布するなど。

③ 職×活

仕事と日常生活の融合により、快活都市宣言をする。企業のサテライトオフィスや福利厚生施設として遊休施設を活用。

彼らは、訪問した地域で自分たちが知らなかった地域資源や魅力の再発見ができたと言います。生活空間と観光施設が近接する特性を生かして、何か新たな未来像を調査研究していきたいと締めくくりました。



<発表者> 佐野岬希、梶帆波、渡邊碧海、鈴木詩生、村上謙慎、加藤優弥

総括

東部静岡発サスティナブル日本

慶應義塾大学名誉教授

矢作 恒雄 氏

目指すは、良い子が育つ地域社会

ただいま、県東部の首長座談会をはじめ、高校生や大学生からも素晴らしいご提案がありました。これらを実現させれば、静岡県東部からサスティナブルな日本が実現できると確信いたしておりますが、私は県外の住民として感じて来たことを若干述べさせていただきます。

まず、県東部の特性は、富士山・駿河湾・天城山系に囲まれた自然と、山海の幸、農産物に恵まれ、日本最先端の防災対策がとられ、がんセンターを取り巻く医療城下町が形成され、暖かく穏やかな人心のもと、良い子が育つ社会一すなわち、日本一の豊かさが県民の皆様にとっては「当たり前」である、誠にうらやましい場所であることです。

特に、「良い子が育つ」というのは、私の身内を含め、首都圏の病院勤務の後、静岡県の病院勤務となった小児科医十数人から実際に聞いた話です。首都圏ではご自分が調べた治療方法・薬が正しいと主張するお母さんの考えが間違っていることを説得するのに診察そのものの時間の数倍かかるが、静岡ではお母さんが小児科医と一緒に健康な子に育てようとされており、子ども達も皆、のびのびとしている。若い小児科医達は、できればこのまま静岡に住み付ければよいのと言っていました。良く考えてみると良い子が育つ社会というのは、風光明媚で美味しい食べ物があることよりも、将来にとって最も貴重なことでその点から見ても静岡は日本一であると確信致しております。

いくつかの疑問点

冒頭で触れましたように皆様のご提案は、極めて現実的で素晴らしい内容ですが、その中で私の視



点から気付いた事項をいくつか指摘の上、私なりのご提案をさせて頂こうと思います。まず、静岡の産業が話題になると、真っ先に取り上げられるのは観光で、暗黙のうちに財政的基盤として捉えられているように私は感じております。しかし、私は単純に「観光とは本当に儲かるのか？」という疑念があります。

少子高齢化が急速に進む現実を考えると、沢山やって来る観光客をおもてなしする人がどれだけいるのかが気になります。河口湖駅前のローソン問題は極端な例かもしれませんが、観光客が増えることが地元の財政的基盤になると考えるのは正しいのだろうかというのが、私の気になる点です。

観光以外の産業振興に関しては、「一次産業や身近な産業を」というご提案がありました。これは極めて現実的ではありますが、産業を興すには労力と本格的な資本投下が必要です。従って、新産業選びは静岡にとって最も有利なものを戦略的に行うべきではないでしょうか？これに関しては後ほど少し詳しくお話しさせていただきます。

統計数値から見た静岡の課題

会場の皆様にいくつかの静岡県の特性を示す統計数値だけをお見せし、それらが何を表すのかお聞きしました。気づかれた方もいらっしゃる様ですが、静岡は1995年以降(女性は1990年以

降)、今日まで静岡県の住民の流出が続いています。2008年以降今日まで人口の自然減(出生一死亡)もあり、静岡県人口は加速度的に減り続けます。

静岡県東部の市・町の出生率は高い順に1.82(長泉)、1.75(裾野、御殿場)・・・1.08(熱海)となっております。これらは2013年-17年のデータですが、本年6月の厚労省の発表では出生率全国平均は1.15で、東京都はなんと0.96です。出生率は2.07以上にならないと人口維持は不可能といわれています。

出生率低下に併せ厚労省が指摘したのは、結婚数の激減で、その理由を若者が「結婚したくない」のではなく、「したくても経済的に出来ない」という現実です。

また1都3県以外、全国すべての道府県で女性流出が起きており、その理由は就職先がないからだそうです。

結婚適齢期といわれる20～39歳の女性は静岡県で9.4%(全国10.3%)。65歳以上の高齢者人口比は静岡県で30.6%で、全国平均29.1%。1人の働き手(15歳—64歳)が支える高齢者数は1.9

人で全国平均2.1人よりは低いという状況です。

以上を見ると静岡の基本的課題は人の流出、特に女性の流出ですが、実はこれは静岡だけでなく日本全体の問題であるとも言えます。

ただ、冒頭で述べました様に、静岡県は日本一の豊かさが当たり前でありながら、なぜ住民の流出が30年以上も続いているのかが納得し難い事実なのですが、流出の理由は極めて簡単明瞭です。静岡県に魅力が無いからです。厳しい言い方と思われるかもしれませんが、それが現実なのです。これを真剣に考えなければ、輝く未来は訪れません。

県の試み

既に静岡県として色々な試みがなされているようで、その一つに令和3年に「ふじのくに少子化突破戦略の新羅針盤」が発表されました。魅力的な項目が並んではいますが、主成分分析という手法を使っているために、「魅力的な項目」は研究者の独断で抽出命名したもので、県の政策として採用する訳には行かないと思います。



私の提言

下記の項目を提言いたします。

1. 流出住民へ静岡県の魅力の啓蒙
2. 世代別魅力の提供
子育て世代、若者（学生）、
高齢者MCI（軽度認知症者）の住環境
3. 産業と防災

1. 流出住民対策

下記2項目をご提案いたします。

（1）県民にとっての「当たり前」に感謝する

私自身若い頃は週に1回、静岡に来ており、その頃は富士山が見えるのは当たり前でした。しかし最近静岡訪問が年に数回になってみて、改めて富士山の荘厳な美しさに感動しています。富士山をはじめこの美しい自然環境への感動と感謝の気持ちは小さい頃から伝えることが肝要と思います。これは赤ちゃんがお腹の中にいる頃からお母さんが自分の感動と感謝の気持ちを赤ちゃんに語りかける形で伝えておく事をお勧めします。

胎児教育の重要性については世界的権威である池川明教授が指摘する「胎内記憶」能力を活用することです。

（2）女性が仕事を持つことに寛容な社会づくり

首都圏の大学に通った女性が、卒業後静岡に戻らないのは、就職先が無いからであるという調査が



複数あります。また息子のお嫁さんが仕事を持つことを嫌がるお姑さんがまだかなり多いとも聞いております。因みに今日の20人の首長座談会ご出席の市町長全員が男性でしたね。これは象徴的事実ですが、いずれにせよ女性にとって働きやすい環境を作ることがとても重要と思います。

2. 世代別魅力の提供

（1）子育て世代対策

長泉町の事例に学んでみましょう。交通の便等の立地はもちろん、人口は4万7千人ぐらいで、町がやろうとすることが町民全員に伝わりやすいなど、長泉町特有の利点もありますが、子育て支援制度の充実、教育・学習環境の良さ、安全安心の町づくり、公園・自然・医療インフラの充実など、学ぶべき点は多くあります。

（2-1）若者対策

世界最先端の大学院大学の創設を提案します。

首長座談会でもAIの活用が話題になりましたが、実は生成AIはすでに時代遅れで、今からの研究・教育はAGI(Artificial General Intelligence汎用AI)に軸足を移した世界トップクラスの研究・教育を行う大学院大学で、沖縄のOISTが参考になると思います。教授陣は世界トップの大学から招聘します。私でしたらインド工科大学から教授をお招きします。もちろん学生・研究者は全世界から募集すべきですが、県内では沼津高専の卒業生を推薦して頂きたい。高専の授業は非常に充実しており、何よりも高専の学生の学習意欲が魅力的です。

また、若い起業家のためのスタートアップビレッジを創設し、その中心に新大学院大学を立地させます。その際忘れてはならないのはベンチャーキャピタルの誘致です。

（2-2）結婚したいができない若者支援

AIマッチングサイトの活用をご提案します。静岡の「当たり前」をSNSで発信し、魅力的な出会いの場を市町連携で創設し、交通費や軽食、静岡県

特産のお土産品を付けるなど、他道府県との差別化も必要です。

(3) 高齢者対策

軽度認知症(MCI)の方々が安全に、子供達と共生できるまちづくりを行うべきと思います。ウーブン・シティのメインテーマは、高齢者と子供の安全な共生に修正すべきではないかと思います。

3-1. 産業振興対策

静岡に適した効率の良い産業を戦略的に選別すべきです。

その一つの例として、私は「新世代閉鎖循環型地熱発電」をご提案致します。これは地下から熱水を汲み上げるのではなく、地下3~20kmの地熱だけを利用する米国MITのスタートアップ企業が開発した技術で、これを使えば河川に垂れ流している温泉水を地上から注入しこれを地下3~20kmの超高温地熱で沸騰させ地上に噴出させ発電用タービンを回すというものです。この方法であれば地下からの水の汲み上げは不要で、まったく地球を傷めず発電が出来る訳です。

3-2. 防災対策

(1) 学校に「地学」の授業を

2030年代に発生する可能性が高いと言われていた南海トラフ対策としての防災教育は小学校低学年から日常化させる必要があります。防災教育の基本としてまず「地学」を授業に組み込むべきと思います。東京都では1992年以降、地学の教員の採用ゼロですが、静岡県で1人でも地学の先生を採用すれば、オンラインで複数の学校に授業を提供できます。

また、1854年の安政南海地震は濱口梧陵の話(小泉八雲の「稲むらの火」)を小学校の副読本にするなど、小学校低学年から防災に関心を持たせる必要があると思います。



(2) 災害時の情報システム

総務省は災害時に激増する携帯電話利用に対応出来る様に、携帯電話基地局の整備に力をいれておりますが、基地局を地上に設置する限り災害が起これば基地局も使えなくなるのではないのでしょうか？これはサテライト利用に変えるべきと思います。

また災害状況を把握するには被災現地の住民からの情報が行政に自動的に入るシステムを開発する必要があります。これが可能なのは米国 Lemco 社の技術だけと聞いております。勿論これはサテライト使用です。

(3) 観光客避難システム

土地勘の全くない観光客の避難システム構築とその利用訓練は全地域の官民連携で即刻進めるべきと考えます。

以上、首長座談会ご提案に関連した私の見解とご提言をまとめさせて頂きました。

高校生・大学生の発表： WHYの答えを探る取材を身につけよう

PearlのBook of Why(翻訳版『因果推論の科学』(2022)は難解ですが、大学生には大学卒業までには是非読んで頂きたい本です。そのテーマは物事の因果関係を探し出す能力で、それには3段階あると指摘し、因果の梯子という図で説明しています。

まず梯子の1番下は「観察」と呼びフクロウの絵が描かれています。フクロウは水が流れる川には餌になる魚が多いということをよく知っているの、一晩中じっと観察を続けるのです。しかしフクロウは何故川には魚がいるのかは考えたこともありません。

実は統計学は観察から得られた異なるデータ群の関係の深さ(相関関係)は精密に計算出来ますが因果関係の結論は出せません。つまり統計学は観察の思考レベルであり、これが統計学の限界なのです。

フクロウの上には棒切れを持った原始人が描かれています。原始人は川の場合によって魚の獲れ方が違うのは何故かつまりWhyの答えを探そうと色々工夫します。

1番上には近代人が描かれています。このレベルでは、川の流れを堰き止めてしまったり魚は簡単に獲れるのか、あるいは何か特別なことが起こるのか、それは何故なのかを色々な仮説を想定しWhyを繰り返し因果の関係を導こうとします。

以上の分類でお分かりの様に、データを沢山集めるだけではなく、そのデータの源である事象が何故生じたのかを、Whyを繰り返す事でその答えと

してどれだけ正確な因果関係を探し出せたかでその人の知能レベルが分かります。

AIの優劣の評価も同じで、何回のWhyに答えられるかで決まります。

その視点で、今日の高校生、大学生のプレゼンを評価してみましょう。

まず、富士東高校の新聞記事は満点を上げたい見事なものでした。Whyの答えを探そうという明確な目的をもった取材でした。取材、つまり観察をしデータを集めるだけではなく、取材しながら常にWhyを繰り返すことで、取材した現象の因果関係を見出すという、プロの記者の鏡にして欲しい出来栄でした。

沼津東は面白い提案ですが、観光が重要であるのは当然の様に捉えていたのが残念です。Why観光が重要なのか、その答えにさらにWhyを繰り返せばさらに深く掘り下げた結論が出たと思います。

韭山も、Why廃校が増えたのかを考え、その答えに更にWhyを繰り返せば、全く異なる課題が見えて来たはずで。

静岡産業大も何の前置きもないまま観光を資源ととらえていましたが、Why観光は資源なのかからスタートすれば、全く異なる世界が開けて来たと思います。



〈登壇者プロフィール〉

矢作 恒雄 (やはぎ・つねを) 氏

慶應義塾大学名誉教授、Yahagi & Associates, Inc. 代表。

1942年生まれ。1965年慶應義塾大学卒業。スタンフォード大学で1974年MBA、1981年博士号(AACSB全米最優秀賞)を取得。三菱商事、米国Baxter社、富士ダイス、AI開発会社起業等の後、1983年より慶應義塾大学教授、大学院長、慶應義塾常任理事、慶應ニューヨーク学院理事長歴任後、東京工科大学アントレプレナーズスクール創設・校長、作新学院大学ビジネススクール創設・副学長歴任。現在、海外産業人材育成協会にて発展途上国経営者セミナー主幹教授(1983年～)。静岡県ファルマバレー構想戦略委員(2001年～)、公共政策調査会評議員(1998～)等。

富士山静岡交響楽団 オーボエ四重奏



〈出演者プロフィール〉

公益社団法人 富士山静岡交響楽団

2020年11月、いずれもNPO法人であった静岡交響楽団（創立1988年）と浜松フィルハーモニー管弦楽団（創立1998年）が合体、2021年4月より一般財団法人「富士山静岡交響楽団」となり、静岡県内唯一の常設プロオーケストラとして県下広域に演奏活動を拡大。2022年4月には公益財団法人の認可を受け、財政基盤の強化と更なる演奏力の向上に傾注した。こうした活動が評価され、2024年6月に公益社団法人日本オーケストラ連盟 正会員に承認された。

【演奏者】

オーボエ・篠原拓也 ヴァイオリン・橋本知歩 ヴィオラ・角田峻史 チェロ・生駒宗煌

記念講演

県東部、沼津への想い、 今後の夢は

講師

サッカー元日本代表、沼津市出身
小野 伸二氏

聞き手

新城 健太氏 (SBSアナウンサー)



(新城) 改めて、ようこそお越しいただきました。

(小野) 2年ほど前までサッカーをやっていた小野伸二です。今日は短い時間ですが、沼津への愛を語りしたいと思います。

(新城) 小野さんは1979年9月27日に沼津市でお生まれです。1998年に清水商業高校から浦和レッズに入団されましたが、まず沼津時代はどんな少年でしたか？

(小野) 夢を見る子どもでしたね。マラドーナ選手を見た瞬間から、将来こういう選手になりたいと。ボールを持っていなくても、この人を見るだけでワクワクする。それには世界一の選手にならなければという目標を立てて、毎日、日が暮れるまでボールを触る毎日でした。

今沢サッカースポーツ少年団があることを、小学3年生のときに知ったのですが、それまでは団地の壁にボールを当てたりリフティングをしたりするサッカー少年でした。

(新城) 地元ではサッカーをしている姿が天才だと噂になり、少年団から、お金はからないから入ってくれと言われたそうですが。

(小野) ご存知の方もいると思いますが、我が家は10人兄弟でしたので、親に言い出せず、入団申込書に自分の字で記入したのです。子どもの字だとすぐに

わかって、家庭の事情を察した監督が家に来てくれて、親に入部をすすめてくれました。それがスタートです。

(新城) そもそもサッカーとの出会いは？

(小野) かつこよく言えば、そこにボールがあったから、でしょうか。自然に、ボールを蹴っている自分がいました。たぶん保育園児の頃だと思うのですが。

(新城) サッカーに愛されて始められたんですね。清水商業に進まれたきっかけは？

(小野) 小学4年生の頃、沼津に遠征に来た清水商業の試合を見て、当時の少年団監督に「清商の監督に、僕、清商に行きます！と言ってこい」と言われた記憶があります(笑)。中2の時、川口能活さんの清商が全国優勝しました。それをテレビで見、「ここだ」と決意し、中3の時に沼津学園からオファーをいただいたのですが、清商以外は行かないと決めていた。もし清商からオファーがなかったらどうしようかと思いましたが(笑)。

(新城) 実際に入部してどうでしたか？

(小野) 異次元でしたね。全国から選手が選抜されるようなチームでしたから、一人一人の技術も高いし、トレーニングの質や量が違う。1年生の時、ついて行けないと思って、監督に「足が痛いので沼津の

病院に行ってもいいですか」と逃げようとして監督に見抜かれて、「今、逃げるのは簡単だが、ここで踏ん張れるなら人生変わるぞ」と。そこでひとつ踏ん張れたのがよかったと思います。小さなアドバイスですが、今でも心に残っています。

(新城) 今では大学を經由してJリーグに行く選手が多いのですが、高卒で浦和に行く経緯は？

(小野) 大学進学は元から考えていませんでした。家のことを考えたら、早く稼いで親孝行をしたいと。当初は清水エスパルスの入団を考えていたのですが、外に出るのも大事かなと思い、浦和を選びました。

(新城) 13クラブからオファーがあったらしいですね。

(小野) そんなにあったなんて、僕自身は知りませんでした。とにかく自分自身はエスパルスに行く決めていたのですが、浦和のスカウトが藤枝出身のかたで、毎日見に来られて「1%の可能性があるなら通い続ける、君のプレーを毎日見続けたいんだ」と言うてくださったのです。

(新城) SBS国際ユースサッカーには2大会連続で出場されましたね。

(小野) 愛鷹では日本ユース代表として県選抜と戦う印象的な試合でした。親兄弟や仲間もたくさん観に来てくれて、是が非でも活躍したいと。当時の日本ユース代表のレベルは非常に高く、サブクラスの海外ユースに負ける気はありませんでした。

(新城) プロに入って高校時代と違うことは？

(小野) 正直、1年目から思い描いていたプレーができたと思っています

が、やはり高校時代に比べ、メディアに露出する機会が非常に増えました。アマチュアとプロの違いですね。お金を払って見に来るお客さんに、また来てもらうためには、とにかくお客さんを楽しませ、またこのチームを見たいと思ってもらえるようなプレーをしようと、つねに意識しました。

(新城) プロのレベルはどうでしたか？

(小野) レベル自体は、日本代表となると、ものすごく高いのですが、クラブ内ではあまり感じませんでした。1年目は野人こと岡野雅行さんにかわいがってもらい、チームに溶け込みやすかったと感謝しています。高校時代から一緒にやって来たヒラ（現FC琉球監督の平川忠亮さん）など、共に青春時代を過ごした同輩の存在も大きかったです。

(新城) 2001年にオランダフェイエノールトへ移籍し、FIFAの主要大会すべてに出場した初めての日本人選手になりました。海外に行かれるタイミングは、ご自身の中ではどうだったのでしょうか？

(小野) 自分自身、高い意識を持ってやれば世界でやれると思っていましたが、やはり年代が変わってフル代表として海外と戦ったとき、このままではだめだと思ったのが大きかったですね。

(新城) いままでこそ多くの日本人が海外でプレーして



いますが、当時の感覚は？

(小野) 価値のある時代だったと思います。もっとトップレベルの国でプレーしたかったというのが本音ですが、貴重な経験をさせてもらいました。

(新城) 海外と日本でサポーターの違いはどうでしょう？

(小野) 日本のプロサッカーも30年を経てきましたが、海外は80年以上の歴史があり、サポーターも本当のサッカーを知っている。ホームアウェイ問わず、いいものは自然と評価してくれます。

(新城) 目の肥えたファンの多い中で、自分が認められたという感じはありましたか？

(小野) まずはチームに認められ、監督に認められること、信頼関係を持つことが大事だと思いました。ピッチ外でのコミュニケーションも大事にしましたし、当時は英語がしゃべれない状況でしたが、とにかくオランダ語を勉強して、日本人が一生懸命、母国語を覚えて頑張っていると評価してもらえたと思います。

(新城) FIFA大会すべての出場経験がある唯一の日本人選手として、印象に残ったクラブや選手はいましたか？

(小野) 幸いにも1年目にUEFAで優勝させてもらいましたが、チャンピオンズリーグでレアルマドリードとモナコで対戦したときはコテンパンにやられ、子ども扱いされました。それこそ、ジダンやフィーゴやロベルトカルロスら銀河系軍団がいて、僕は何が何でも勝ちたいと思っていたのですが、チームメイトは試合前にレアルの選手とユニフォーム交換しに行っていました。そんな気持ちじゃ勝てないのは当たり前ですが、終わった後は、僕も交換しに行っておけば良かったと後悔しました(苦笑)。

(新城) 数々の輝かしいキャリアの裏で、大きな怪我也も経験されていますね。

(小野) 最初の大怪我は1999年で、相手はフィリピンでした。少しプレーに余裕を持ちすぎて、油断した一瞬の隙に負ってしまい、大きな反省材料になりました。それまで自分の頭の中にあっただ映像がすべて真っ白になってしまったような怪我でした。

(新城) 復帰に向けた原動力は何だったのでしょうか？

(小野) ファンからの手書きの手紙です。今ならダイレクトメールで届けられるものを、当時は一通一通、手書きで励ましの言葉を寄せてくれました。絶対に復帰していいプレーを見せたいと強く願いました。

(新城) 海外を経験した後にエスパルスに移籍されました。

(小野) 地元でプレーできる喜びは、どの選手でも感じていると思います。清水は自分を育ててくれたまちですし、自分の中でもやりがいがあって、地元で恩返しができると思った。

(新城) Jリーグの中でも、浦和と清水のサポー



ターは屈指のサポーターですね。

(小野) 浦和は、最初は低迷が続いていた中で、のし上がってきたチームです。清水は最初からサッカー王国で高いレベルにあった。サポーターの意地も違いますね。清水はサンバリズムで独特のノリがある応援スタイルで、アウェイに来て気持ちがいいものです。逆に、浦和では引き分けでもブーイングが来る。絶対に勝たなきゃだめだという緊張を強いられましたが、それも、やり甲斐につながりました。

(新城) 2023年12月に現役引退され、Jリーグ特任理事に就任され、「小野伸二×Jスマイルフットボールツアー」で全国を飛び回っておられます。また、一般社団法人CHARITY Xの代表として活躍の場を広げられていますね。現役引退のきっかけを教えてください。

(小野) 本当はもっと現役を続けたかったし、やれると思っていたのですが、当時のミハイロ・ペトロヴィッチ監督(愛称:ミシャ監督)から「辞めたいときはいつでもいいから自分で決めてくれ」と言っていただきました。暗に「辞めてくれ」と言われていると。自分がいることで若手の成長を邪魔しているかもしれないと。ならば、少しでも身体が動くうちに退いて、子どもたちに、いいプレーを見せられるようにしようと思いました。背番号が44番でしたから、44歳というタイミングもありましたね。後悔はありませんが、今でも試合を見て解説しながら、現役っていいな、ピッチにまた戻りたいな、という気持ちになります。

(新城) 今はどのような活動を？

(小野) Jリーグと明治安田生命さんと一緒に、全国クラブ60チームの地域で小学1～6年生の子どもたちを対象に、サッカー教室+サステイナブル講座を開催しています。子どもたち以上に自分が楽しんでしゃいでいます。自分が楽しまなければ、子どもたちも楽しめないはずですし、子どもたちも必死に覚えようと真剣なまなざしの中に、終始笑顔があります。

(新城) CHARITY Xのほうはいかがですか？



(小野) いろいろなアスリートにお願いしてチャリティオークションを行い、出展者ご自身が寄付したいところへ寄付します。

(新城) 引退後、解説者として仕事をされていますが、今の日本代表の強さをどう思いますか？

(小野) こんなに早くWカップ最終予選を勝ち抜くとは思いませんでした。2022年カタールの苦い経験を経て大きくなりましたね。多くの代表選手が、海外に出ることが目的ではなく、海外のビッグクラブの主力選手になっています。

(新城) 天才小野伸二さんが、わくわくする日本代表選手は？

(小野) まだいないな(笑)。いや、一人一人の能力は非常に高く間違いなく素晴らしいと思います。

(新城) 期待するのは？

(小野) 久保選手は、見ていて何をするんだろうと期待できますね。

(新城) 最後に、生まれ育った沼津への思いをお願いします。

(小野) 自分が生まれ育った故郷というのは、かけがえのないものですし、小さい頃、沼津や東部はサッカー不毛地帯と言われて悔しくて、なにくそと思い

ましたが、そういう時代だったからこそ自分の成長を加速させてくれた。自分はいつまで経っても静岡県沼津市出身の小野伸二だし、沼津出身を胸に掲げて頑張りたいと思っています。

(新城) 今後の抱負をお願いします。

(小野) とりあえずは目の前にある一つ一つをクリアしながら、何をすれば皆さんに恩返しができるかを考えていきたいと思っています。

(新城) では、会場から質問があれば承ります。

(質問) 怪我をされたとき、真っ白になったとおっしゃっていましたが、頭の中には、どういう映像があったのですか？

(小野) 練習の時から頭の中にピッチがあって、つねに試合をしている感覚でした。どこに誰がいてパスを出すか、ディフェンスはどう動くかが、つねに頭にあった。サッカー選手全員がそうだと思っていたのですが、僕だけだったみたいです。怪我をして3ヶ月ぐらいピッチに立てない時間があり、復帰したとき、すごく違和感があったのは、映像が真っ白になっていたからでした。

(質問) 野球だと野茂選手がメジャーの道を開拓し、サッカーでは奥寺選手がいました。先駆者の存在や影響を感じたことはありますか？

(小野) Jリーグができる前からそういう先人がいて、その方々のおかげでJリーグができた。プロがない

時代にそういう人たちがいてくださったおかげだと思います。奥寺さんやカズさんやヒデさんのおかげで扉が開いたと、いつまでもリスペクトしています。今の海外に行っている選手もそう思っていてほしいですね。

(質問) 子どものサッカーコーチをしている者がいるが、子どもを指導しているときに心がけていることは？

(小野) 僕自身、サッカーが大好きで、いい選手になりたいという気持ちが大事だと思ってやってきました。今の子どもたちは、いろいろな人に指導を受けていますが、本当にやりたくてやっているのか、やらされているのか。自分でやりたいと思う意欲が成長につながります。そして、やはり楽しいと思ってもらうことが大事です。教えるという言葉は使わず、サッカーの楽しさを、何より伝えたい。子どもたちがつねに笑顔でボールを追いかけられるようにしたいと思っています。

(新城) 最後に皆さまにメッセージをお願いします。

(小野) 今日は貴重な時間をありがとうございました。自分が出会ってきた皆様のおかげでサッカーを続けさせてもらいました。これからもサッカーの魅力を感じてもらえるよう精一杯頑張りますので、応援よろしくをお願いします。

(新城) 今日はありがとうございました。

〈講師プロフィール〉

小野 伸二 (おの・しんじ) 氏 サッカー元日本代表、沼津市出身

1979年9月27日 生 沼津市出身。1998年に清水商業高校から浦和レッズへ入団。オランダ、ドイツなど世界で活躍し、フェイエノールト時代にはUEFAカップを制覇。W杯3大会出場、シドニー五輪出場、アジア最優秀選手賞などFIFA主要大会全てに出場した唯一の日本人として多くの輝かしい経歴を残し、2023年12月3日に現役を引退。引退後はJリーグ特任理事に就任し、小野伸二×Jスマイルフットボールツアーで全国を飛び回るなど活躍中。また、一般社団法人「CHARITY X」の代表としても活動の場を広げている。



30周年記念パーティー



— 乾杯挨拶 —

沼津市長
頼重 秀一氏



— 中締め挨拶 —

三島市長
豊岡 武士氏

サンフロント21懇話会

幹事・運営委員と 地元県議・市長町長との合同会議

日時 2025年3月25日(火)

会場 サンフロント9階ミーティングホール



2025年3月、サンフロント21懇話会の幹事・運営委員と地元県議・市長町長との合同会議がサンフロントで開催され、2025年度の活動方針案を協議し、了承された。記念講演では時事通信社政治部長の佐々木慎氏が、石破政権の行方と多数派なき国会運営について解説をした。

主催者挨拶



静岡新聞社
取締役経営戦略局長
管理・東部担当
溝口 将人

本日は年度末ご多忙の中、ご出席いただきありがとうございます。今年の冬は、記録的な暖冬となった昨年と違い、寒さが厳しく、伊豆半島の早春を彩る河津桜の開花も遅くなりました。3月末を迎えてようやく春らしくなり、まもなくソメイヨシノも開花し、あっという間に満開になることでしょう。

本日は2025年度の活動についてご審議をいただきたいと思っております。議事後の講演では時事通信社の佐々木部長に転換期を迎えた日本政治についてお話いただきます。

実は15年ほど前、私も東京勤務をしており、ある県選出の議員宿舎を訪ねると、佐々木氏をしばしばお見掛けしました。すでにベテラン政治記者の雰囲気をお持ちで、永田町の記者というのはすごいなと感心しておりました。今後の政局について佐々木氏がどのような見解をお持ちか、大変興味深いところです。

懇話会の活動も30周年となり、6月には記念式典も予定しております。かくも長きに亘り、活動を続けてこられたのはひとえに皆さま方のお力添えの賜物であります。今後とも懇話会への活動へ一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

懇話会代表幹事挨拶



静岡中央銀行
代表取締役会長
清野 眞司

本日の合同会議では2025年度活動方針案について議題とさせていただき、皆さまからご意見をいただきたいと思っております。

新年度の活動方針は大きく4つの柱を掲げております。

一つ目は『未来の都市景観を県東部から発信』。昨年9月の伊豆地区分科会で医療田園都市構想について、また11月の東部地区分科会では『東京100キロ圏内の地域間競争をどう勝ち抜くか』を関連テーマとして取り上げました。2025年度もこれらのプロジェクトを推進し、具体的な内容が示せるよう努めてまいります。

二つ目は『県東部産業の持続的発展と新産業創出支援で地域創生へ』。この地域の一次産業の発展や、セルロースナノファイバーの使用拡大についても考察していきます。

三つ目は『東部伊豆地区の文化力の向上、インバウンドの取り込みの支援』。県東部伊豆地域の文化芸術資産を活用した情報発信を支援するとともに、富士山など観光資源を活かし、インバウンドの積極的な取り込みを後押しします。

四つ目は『愛護から共生へ～動物と人との一層の近接化支援』。県が2025年11月に富士市に開所する予定の「仮称 静岡県動物愛護センター」も踏まえて、県東部全体に動物愛護の意識をさらに高めていく活動を考えております。

皆さま方よりさらなるご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

市長町長連絡会議会長挨拶



沼津市長
頼重 秀一 氏

皆さまにおかれましては、常日頃より地域におけるオピニオンリーダーとして、この地域の発展のため、多大なるご理解ご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

沼津市においては令和5年に市制100周年という節目を迎え、去年は101年目の新たなスタートを切りました。最大の懸案だった鉄道高架事業が動き出し、着々と歩みを進めております。鉄道高架事業は沼津市のみならず静岡県全体の発展に寄与するものとされ、一昨年は新貨物ターミナル、去年は新車両基地の本体工事が着手されました。新貨物ターミナル着工時には川勝知事、新車両基地の時は鈴木知事にお越しいただきました。

このような中、市街地の更新も進み、沼津アーケード名店街E街区の取り壊しが始まっています。大手町五丁目も都市計画決定となり、いよいよ中心部の「まちなかの更新」がスタートします。南側のみならず、北側ではイトーヨーカドー跡地での再開発も進められています。

文化面では11月には沼津市出身の俳優、磯村勇斗さんがしずおか映画祭を開催し、大きな話題となりました。プロスポーツではサッカーのアスクラロ沼津、新総合体育館でのバスケットボール、バレーボール、フェンシングの大会も注目されました。

多くの方に来ていただくのに沼津だけではキャパの問題があり、近隣市町の連携によって大きなイベントの実現が可能です。また、観光面では美しい伊豆創造センターのご支援で、台湾とのつながりをご指導いただき、高雄市との観光に関する協定を結びました。まさに広域的な連携によって、富士、伊豆、箱根、駿河湾という観光資源を広域で活かす取組が始まっております。

各市町の取組には限界があり、この地域はお互いのポテンシャルを活用し合いながらしっかりと連携することによってパワーアップするものと思われまます。サンフロント21懇話会は政財界がしっかりと結びついた組織ですので、実のある議論が進むものと期待しております。

今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

議事 2025年度の活動方針案について

議長 頼重 秀一 氏
(沼津市長)

報告 伊東 哲夫 氏
(懇話会運営委員長・弁護士)

4つの基本的テーマについて、中長期的なものとして継続的に取り組む

- 未来の都市景観を県東部から発信
- 県東部の産業の持続的発展、新しい産業の創出支援で地域創生へ
- 東部・伊豆地域の文化力の向上、インバウンドの取り込みを支援
- 愛護から共生へ。動物と人との一層の近接化支援

いずれも賛成多数で了承され、6月の総会にて正式決定することとなった。

講演

転換期迎えた日本政治 ～多数派なき国会の行方

講師

時事通信社政治部長

佐々木 慎氏



静岡県東部選出の国会議員を振り返って

本日はお招きいただきありがとうございます。沼津市は衆院の選挙区では自民党の勝俣孝明さん、立憲民主党の渡辺周さんの地盤で、中選挙区時代の旧静岡2区は自民党では杉山憲夫さん、斉藤斗志二さん、木部佳昭さん。社会党では勝間田清一さん、その後継の前島秀行さん等、そうそうたる顔ぶれが揃っています。

杉山さんは新生党結党に参加し、その後、自民党に復党されて、当時の宏池会加藤派(旧岸田派)におられました。2000年の「加藤の乱」のとき、ちょうど私は宏池会担当で、何度か直接話を聞いたことを思い出します。

前島さんは社民党の院内総務会長(国会対策委員長)で、当時は今より激しい国会で徹夜国会も当たり前前の時代。前島さんは2000年2月にお亡くなりになり、富士宮でのお葬式には、私も村山元首相に同行して参列しました。国会の追悼演説は柳澤伯夫さんでした。静岡と言えば忘れてならないのは元首相・石橋湛山。上川陽子さんが総裁選に出馬したときは、石橋湛山以来の静岡県出身の総理誕生かと言われました。石破さんも総理になって所信表明演説や施政方針演説で湛山の演説を引用していましたね。

昭和体質が露呈した商品券問題

今、石破さんはピンチです。政権与党自民党自体のピンチです。

少数与党の自民党は日本維新の会の協力を得て2025年度予算案を衆院で可決し参院に送りました。参院審議中に10万円商品券問題が発覚しました。その後、歴代首相も配っていたことが明るみとなり、これは自民党の贈答文化、慣習なのではないかと野党は追及しています。

少数与党ですから、仮に、石破さんの代わりに誰かを立てたとしても、首相指名選挙で勝てるかどうかは分かりません。野党が一致結束し、内閣不信任決議案を出せば通ってしまいます。いずれにしても自民党にとって大ピンチです。

石破政権は、羽田内閣以来30年ぶりの少数与党と言われますが、羽田内閣は選挙の結果を経て少数与党になったわけではありません。選挙結果を受けて少数与党になったのは、「バカヤロー解散」を受けて発足した第5次吉田内閣があります。吉田茂さんが総辞職した後、鳩山一郎さんがすぐに選挙をやるという条件で首相指名選挙では左右両社会党も鳩山さんに投票したわけです。解散・総選挙を受けて発足した第2次鳩山内閣も少数与党でした。この選挙で左派社会党の躍進があり、それを警戒した財界の強い要請もあり、保守合同につながるわけです。

保守合同前夜の第5次吉田内閣では、吉田自由党のほか分党派自由党(鳩山自由党)、それから改進黨といった保守政党がありました。イデオロギー対立が今より相当激しかった時代なので、日教組の活動制限を狙った教育二法、それから防衛庁設置法・自衛隊法など吉田政権が提案した法案はいずれも当時の保守政党が協力して成立しました。

当時と今とは時代背景が異なり単純比較はできませんが、同じように政治の過渡期を迎えているわけです。70年ぶりの少数与党内閣といったほうが正しいでしょう。

自民党結党以来70年。1993年の細川政権、2009年の民主党政権を除いて、長きにわたり、政権を担ってきました。70年代から80年代にかけて「三角大福中」、2000年代に入って「麻垣康三」。昨年の総裁選には9人が出馬して、人材豊富な自民をアピールする思惑があったのですが、「この程度の人材しかいないのか」と思った人も少なくないでしょう。結果、石破さんが総理総裁に。石破さんを選んで半年しか経っていないのに、首をすげ替えるようなことを繰り返していたら国民から見放されます。

石破さんはケチで有名でしたが、首相公邸で夕食会を開き、10万円の商品券を渡したことで批判を浴びています。石破さんの場合はタイミングが悪かった。世間は物価高。国会では「政治とカネ」の問題をきっかけに企業・団体献金のあり方について議論している最中です。石破さんはお金にクリーンなイメージがあったのに、意外に古いタイプの政治家だったと思われてしまった。石破さんは党大会のあいさつで「選挙は握った手の数だけ票が増える」と師匠と仰ぐ田中角栄元首相から教わった話をしていました。今の選挙はどの党もSNS対策にしのぎを削っています。石破さんは昭和の感覚のままですね。

正しく解散できなかった結果

自民党はピンチです。なぜ自民党はこうなってしまったのでしょうか。私は、岸田政権に遠因があるとみています。

岸田さんは解散すべき時にしなかった。解散のチャンスは2回あり、2023年広島サミットの直後、そして秋の臨時国会の冒頭です。当時の支持率はそれほど低くなく、もし解散に踏み切っていたら、昨秋の衆院選ほど減らすことはなかった。少数与党にはならなかったでしょう。

政権運営には国民の支持が推進力になります。岸田さんは2021年秋の就任後、すぐに解散しましたが、衆院議員の任期満了が迫っており、誰が首相になってもすぐ解散しなければならない状況で、岸

田さんの政権運営の実績が問われたわけではありません。

岸田内閣は、敵基地攻撃能力の保有を決めた国家安全保障戦略など安保関連3文書を閣議決定しました、原発再稼働推進にも大きく舵を切りました。いずれも国民の信を問うべき重要政策です。繰り返しますが2年前の広島サミット直後に解散しておけば良かった。これが、「正しいときに、正しく解散する」ということです。

明治から昭和にかけて活躍した言論人、徳富蘇峰が「正しく解散し、正しく選挙し、その結果で正しく進退せよ」と。民政党の浜口雄幸内閣ができたときに言った言葉です。今こそかみしめるべき言葉ですね。ちなみに蘇峰は昭和32年に熱海で亡くなっています。

現在の政治評論家といわれる方々は「解散は、勝てるときにするのが常道だ」と言いますが、支持率が上がるのを待っていたら、いつまで経っても解散できません。やはり、「正しいときに正しく解散する」に尽きる。正しく解散できなかったのが岸田さんで、そのツケを払わされているのが石破さんということです。

岸田さんになぜ解散しなかったのか聞いたら、「たればの話だろう」とおっしゃっていましたが、総裁選で再選できる確証が持てなかったのでしょうか。小泉純一郎さんは2005年の「郵政政局」で、郵政民営化法を参議院で否決されて、衆院解散に踏み切りました。静岡7区では城内実さんが「刺客」の片山さつきさんに敗れましたね。

2017年の安倍晋三さんのときは、直前の都議選で自民党が惨敗し、小池百合子さんの希望の党ブームがあり、衆議院選挙でも負けるのではと言われていましたが、勝ちました。小泉さんも安倍さんも、その意味では正しいときに解散したということです。

岸田さんはなかなか煮えきれない人で、総裁選に出るか出ないかの判断を引き延ばし続け、8月のお盆が明けたら表明するだろうと思っていましたが、お盆の真っ只中に急に総裁選に出馬しないと表明しました。昨年7月は東京都知事選という大型選挙があり、動きにくかった面もあったと思いますが、局面を自ら変えることに慎重な人でした。

いま自民党がピンチなのは、岸田さんが正しく解散しなかったからです。

内閣支持率の危険水位

時事通信社の世論調査はいまでも面接方式を続けており、他社と比べて1割ほど低めに出る傾向があります。岸信介内閣の末期からこのやり方でやっています。当時は「60年安保」真っ只中で、全学連と警察機動隊が衝突し、樺美智子さんが亡くなったのが1960年6月15日。その月の岸内閣支持率は16.8%。岸首相は責任を取って退陣しました。

内閣支持率は、30%を切ると危険水域と言われ、他社が30%のとき、うちは20%くらい。時事調査で20%を切った内閣は早晩立ちゆかなくなります。もっても3カ月でしょう。唯一例外は、田中内閣で、10%台になっても1年間延命しました。最終的に退陣のきっかけとなったのは、立花隆さんが文藝春秋で発表した「田中角栄研究～その金脈と人脈」です。

岸田内閣は田中内閣に次ぐ支持率長期低迷内閣で、「裏金問題」発覚後の2023年12月に10%台に落ち込み、24年8月に総裁選不出馬を表明するまで20%を超えることはできませんでした。

石破内閣支持率は発足直後28.0%。同水準で推移し、直近の3月で27.9%とほぼ横ばいです。通常、3月と4月は予算審議で野党から攻められ、支持率は落ちるものなのに、石破内閣はあまり落ちなかった。予算委員会での丁々発止を案外、楽しんでいました。

そこに10万円商品券問題が直撃しました。思い出すのは森政権です。森さんはゴルフのプレー中「えひめ丸事故」(2001年2月)の報告を受けた後も2時間余りプレーを続けて批判されました。森さんはそれ以前もいろいろ失言があり、「えひめ丸事故」の対応が追い打ちとなりました。3月に日本武道館で開かれた自民党大会で総裁選前倒しを表明し、それが事実上の退陣表明となりました。

当時、私は古賀誠幹事長を担当していたのですが、武道館の前で、自民党東京都連などの方々から〈総裁選前倒しを!〉〈森首相退陣せよ!〉というビラを配っていました。

森政権ほどではありませんが、石破さんも、これ以上支持率が下がると危険ですが、選挙を前に看板をすげ替えるやり方はもはや通用しません。仮に石破おろしが吹き荒れたとして、本人が辞めると

いえば簡単です。たとえば安倍さんは病気を理由にし、福田さんは参院との「ねじれ国会」で政権を放り出した。森さんは最初なかなか辞めると言わなかったが、首に鈴を付けたのは幹事長の古賀さんでした。

それでも辞めさせられない場合は自民党党則のリコール規定があります。これは一度も発動したことのないハードルの高い党則です。2005年の郵政政局のとき、野田聖子さんが小泉さんをリコール規定で総裁を辞めさせようとしたことがありましたが無理でした。自民総裁は自ら辞めると言わなければ辞めさせるのは難しい。石破さんに鈴をつけるとしたら森山幹事長でしょう。森山さんは石破さんを支えています。森山さんとしても、自らの手で去年の衆院選の失地を回復したいとの思いがあるのではないのでしょうか。

立憲・野田代表の“本気度”

自民党の国会議員は、少数与党の現実を理解していないですね。「自民一強政治」がずっと続いてきたためです。

仮に石破さんが総辞職した場合、「憲政の常道」になれば、第2党の立憲民主党に譲るのが筋ですが、立憲にはその気力も意欲もない。去年の衆院選直後、野田さんは首相指名選挙では「自分に投票してください」と呼び掛けていましたが、本気で言っているとは思いませんでした。野党結集を呼びかけなければ格好が付かないというのが本当のところでしょう。

かつて、小沢一郎さんが非自民連立政権を作りました。ああいう胆力のある剛腕政治家がいたら可能かもしれませんが、今の小沢さんにその力はありません。

仮に石破さんが辞めたら総裁選をやるしかない。総裁選は、フルスペック版と簡易版があります。安倍さんが辞めて菅さんが選ばれた2020年の総裁選は簡易版でした。簡易版でも3週間近くかかります。

新総裁を選んだら、衆院で首相指名選挙があります。少数与党では新総裁が必ずしも選ばれるとは限りません。仮に石破さんの後継として高市早苗さんが選ばれたとして、「女性初の宰相誕生か」

と世論調査で石破さんより支持率が高く出たら、野党は逆に「高市さんではまずい」と反高市で結束するかもしれません。自民が首相指名選挙で負けたとなると、「非自公連立政権」側はその勢いで即解散でしょう。衆参両院ともいまの野党勢力が多数派になるかもしれない。そう本気で心配している自民党関係者もいます。

今のところ、去年の総裁選立候補者が「石破降ろし」に動いているとの話は聞きません。誰かを担ごうという動きも見えない。総裁選で上川陽子さんの側近だった衆院埼玉5区の牧原秀樹前法相は小選挙区で落ちて比例復活もできませんでした。

今、自民党の中ではっきり「石破辞めろ」といっているのは参院改選組の西田昌司さんと非改選の青山繁晴(比例代表)大阪府連会長の2人だけ。党内で「色物扱い」されているお二方が言うだけなら影響はないでしょう。小泉進次郎さんがいいことを言っていた。「支持率が下がったらリーダーを引きずり降ろそうとする文化は、変わらなければいけない」と。

一方、立憲の野田代表は「すぐに退陣は求めない」と言っています。野田さんは、夏の参院選はホップ・ステップ・ジャンプの「ステップ」で、次の総選挙が「ジャンプ」。いま政権を奪取しようとの気迫がないのです。政権を担うのが怖いんじゃないかとさえ思えます。やはりあの民主党政権の失敗が痛かった。その後民進党に名前を変えて、立憲民主党と国民民主党に分かれていった。党名を残したくないほど、

思い出したくない失敗だったのでしょうか。

今の野党勢力はバラバラです。野党がまとまらないことに自民党は助けられているとあっていい。野党が仮に政権を取れたとしても参院では自公勢力が過半数を占めているわけですから、思うように政権を運営できないと思っているのでしょうか。石破政権というのはこういう微妙なバランスの中で政権を維持しているわけです。

野党結束の実現可否

内閣不信任案は野党がバラバラの状態では通らないでしょう。石破内閣の支持率ももっと下落したら、野党が結束して不信任決議案を出せる状況になる可能性はある。

国民民主党の玉木代表、ここに来て対決姿勢を鮮明にしてきました。今までは与党寄りの対応を取ってきましたが、「年収の壁」の協議が決裂してから明らかに路線が変わった。各種世論調査でも国民民主の支持率が野党で立憲を上回っています。先週の静岡市議選でも国民民主の新人2人がトップ当選しましたね。北茨城市議選、小金井市議選でも同様です。今や国民民主党は飛ぶ鳥を落とす勢いで、カカシを立てても勝てると言われていています。

立憲の野田さんと違い、玉木さんは今解散したら勝てると思っているようです。予算に賛成した維新も不信任賛成はあり得ると言っている。石破内閣の支持率次第ですが、不信任案提出が現実味を



帯びてくるかもしれません。

大事なのは野党が一致結束することが大前提で、その上で首相指名選挙に誰を立てるかをあらかじめ決めておくことです。野田さんが「玉木でいい」と言えるかどうか。それから政策の一致。これは大同団結。原発政策とか安全保障政策などすぐに一致できないものは後回しにして検討課題とすればいいでしょう。

不信任案が可決されたら石破さんは解散するか選択肢はない。ダブル選挙になるでしょう。

参院選単独の場合。これが現段階で最もありがちなケースです。自公で50議席とれば与党過半数になりますが、現状自民への逆風は収まりそうにない。議席は確実に減ると見えています。

与党過半数割れなら石破さんは即退陣です。宇野宗佑さん、橋本龍太郎さん、第1次政権の安倍さんもそうでした。夏の参院選で負けたら、衆参両院で少数与党になってしまいますから、政権は立ちゆきません。今年末の26年度予算編成と来年の通常国会での予算審議で、これまで以上に野党の言い分を聞き入れて、財源論を無視した予算がつけられる可能性大です。予算を通すために大盤振る舞いをする。こんなことを繰り返していいのでしょうか。少数与党になって「熟議の国会」に期待する声もありましたが、幻想だったと言っていい。

大連立はあり得るか

少数与党とは、裏を返せば、「多数派なき国会」。無分別・無責任な国会になっている、ということ。安定した国会運営には多数派の形成が必要です。連立拡大か早期の衆院解散しかない。石破さんは参院選で与党過半数が取れたら、なるべく早く解散して白黒つける。負けたら潔く下野するのです。

自民党が2009年に下野したとき、私は自民党キャップでした。下野した直後、谷垣総裁のもとで、伊吹文明さんが党再生のための「政権構想会議」に取りかかり、連日議論していました。一方、民主党は2012年に下野しましたが、そういう発想がなく、何度も党名を変えて失敗した。ウクライナ戦争の行方は侵略国家に有利な停戦になるかもしれません。トランプ関税への対応もあります。こうしたときに日本の政治が漂流してしまうのは、何としても避けなければなりません。

大連立はあるとかないとか言われていますが、石破さんと野田さんは親和性が高い。二人が党首である場合、大連立の可能性は高いとみています。参院選の後、自民も立憲も勝ったとも負けたとも言えない微妙な結果になったとしましょう。与党第1党と野党第1党が、26年度予算を成立させて、年金制度改革など大きな課題に取り組んだ後に解散しようかと約束する。選挙管理内閣です。財政ポピュリズムの嵐の中、国会議員まで財務省陰謀論を口にする人がいますが、野田さんは財務大臣経験者でもあり、「責任ある政治」を与党と分かち合うことは可能ではないかと思います。

私は岸田さんについて「解散できなかった総理になった」と言いました。これは石破さんにも言えると思います。今度は自分の手で自分がやりたいときに解散したいと思っているはずです。

奇しくも今年11月15日が自民党結党70周年記念日となります。耐用年数が過ぎ、そろそろ更新の時期。商品券を配っているわけではありません。石破さんには、自らの手で正しいときに正しく解散し、正しく進退を決してほしい。それが石破さんに求められていると思っています。

ご静聴ありがとうございました。

〈講師プロフィール〉

佐々木 慎 (ささき・まこと) 氏 時事通信社政治部長

1967年北海道生まれ。1993年4月時事通信社入社、政治部配属。95年5月福岡支社、99年4月政治部。平河(自民党)クラブキャップ、首相官邸クラブキャップ等を務め、2014年4月政治部デスク。札幌支社編集部長、政治部専任部長を経て、2023年7月より現職。

サンフロント21懇話会

2024年度 第30回 富士山地区分科会

静岡県における観光の現状と課題 —急増するインバウンドを どう東部地域に取り込むか—

日時 2025年2月14日(金)

会場 富士スピードウェイホテル



サンフロント21懇話会は2025年2月14日、富士スピードウェイホテル(小山町)で2024年度富士山地区分科会を開催した。基調講演では、元静岡県副知事で富士山静岡空港株式会社社長も歴任された出野勉氏が、静岡県における観光の現状と課題について、急増するインバウンドをどう東部地域に取り込むかを解説。パネルディスカッションでは小山町長、御殿場市長、御殿場プレミアム・アウトレット支配人を交え、東部地域のインバウンドの状況の今後について討論した。

主催者挨拶



静岡新聞社
取締役経営戦略局長
管理・東部担当
溝口 将人

本日は年度末を控える中、第30回富士山地区分科会に多数ご参集いただき、誠にありがとうございます。

静岡の本社ビルからは、富士山が清水港や上空を挟むようによく見えます。風が強い日は頂上に雪煙が見え、笠雲が出ると明日は雨かなと眺めております。富士山を眺めていると本当に癒やし効果があると実感しております。

ここ小山町に来て富士山を望むと、雄大という表現がまさにふさわしいと感じました。富士山の日2月23日は天皇誕生日にもあたります。雄大な富士山をいつまでも大切にしたいと思います。

富士スピードウェイは30年前の駆け出し記者の頃、サーキットについて取材執筆したことを、つい最近のことのように思い出します。F1グランプリの開催から17年も経つのだとしみじみ思います。

今回の分科会は、昨年7月から新会員になっていただいた富士スピードウェイホテルを初めて会場に使わせていただきます。ご協力いただきましたホテル関係者の皆さまには、改めて御礼申し上げます。

分科会のテーマは観光とインバウンド対策です。基調講演は元静岡県副知事で富士山静岡空港の社長も務められた出野勉氏にお願いし、パネルディスカッションでは小山町の込山町長、御殿場市の勝又市長、御殿場プレミアム・アウトレット加藤支配人にもご登壇いただきます。大変興味深いお話をうかがえると期待しております。

県内の外国人宿泊者は中国人が減少したこともあり、コロナ禍前の7割となっています。代わりに一人当たりの消費額が大きい欧米やオーストラリアからは倍増しているそうです。県内のインバウンド状況を把握し、更なる地域の盛り上げにつなげていければと期待しております。

当懇話会の活動では2025年6月12日に30周年記念総会を予定しています。ここまで継続してこられたのも、ひとえに会員の皆さまのご支援ご協力の賜物であります。

ここに改めて感謝申し上げますとともに、さらなるご協力をお願いし、主催者のご挨拶とさせていただきます。



懇話会代表幹事挨拶



静岡中央銀行
代表取締役会長
清野 眞司

本日はお忙しい中、富士山地区分科会に足をお運びいただき、誠にありがとうございます。2025年は、能登半島地震が発生した昨年とは違い、穏やかな年明けとなりましたが、海外では1月20日にアメリカで第二次トランプ政権が発足し、発足直後から米国第一主義のもと、次々と大統領令に署名しており、アメリカのリーダーシップがいかなる落ち着きを見せるのか、先行きが不透明であります。

経済面においても米国株価は年明けから上昇の一途の反面、日本の株価は一進一退をたどっております。日本の相場の格言に〈辰巳天井〉という言葉があります。辰年と巳年に株価が天井をつけやすいと意味するものだそうです。この格言通りの株価上昇となり、元気な日本経済となっていきたいと願うところでございます。

本日の富士山地区分科会では、この地域の魅力的な経済発展には、訪日客のさらなる呼び込みが必要ということで、そのための気づきをもたらせてくれるものと期待しております。

今年のサンフロント21懇話会も工夫を凝らして開催してまいります。会員の皆様の一層のご支援をよろしくお願いいたします。

開催地代表挨拶



小山町長
込山 正秀氏

本日はサンフロント21懇話会富士山地区分科会を当地で開催していただき、感謝いたします。

今、小山町は、にわかにはホテルブームが到来しております。2019年に足柄スマートIC近くに「ホテルジャストワン富士小山」を誘致したのを皮切りに、「富士ざくらホテル」「富士スピードウェイホテル」と続き、この7月に5つ星ホテルとなる「強羅花壇富士」が開業を予定しております。来年には「アクアイグニス小山」という5つ星レベルのホテル建設が始まる予定です。ここ富士スピードウェイホテルと併せると、小山町に3軒もの5つ星レベルのホテルができることになり、静岡県下ではここだけとなります。

小山町の道の駅をご紹介しますと、国道246号沿いの道の駅ふじおやまは年間50万人が来場します。今の時期は特産の水掛け菜が人気となりますが、一番の売れ筋は切り餅で、時間が経っても硬くならないと評判です。

今日、皆様のお手元にお知らせを入れさせていただいておりますが、小山町が誘致をした、日本初の陸上養殖による国産アトランティックサーモンが、昨年10月から出荷を始め、12月からは、小山町ふるさと納税の返礼品となりました。日本の陸上養殖で成功した国産のアトランティックサーモンはここだけでございます。

今日はいろいろ、いいお話が聞けるとお思いますので、期待してください。

講演

静岡県における観光の現状と課題 —急増するインバウンドを どう東部地域に取り込むか

講師

元静岡県副知事、
元富士山静岡空港株式会社社長
出野 勉氏



富士山静岡空港利用者に見る インバウンドの現況

元副知事で元富士山静岡空港社長の出野でございます。現場から離れ、今はもっぱら家事手伝いという身で、情報アップデートはされておられません(苦笑)、これまでの経験を踏まえ、静岡県観光の課題について、私なりに分析と提起をしたいと思います。

まず全国と本県の訪日外国人データを見てみましょう。全国では、コロナ禍で落ちた後、一昨年の2023年からより戻しが来ております。昨年12月には350万人、2024年の年間推定は3,686万人余と、コロナ禍前の2019年より16%増となっております。

本県は、2020年2月にガクンと落ち、低迷状態が続いて今に至っています。全国的には復調傾向ですが、本県は76%程度にとどまっています。昨年2月には9割近くまで回復したのですが、全国に比べると6~7割程度の推移で、いかに全国の流れに乗り遅れているかがわかると思います。本県訪日外国人は、数としては中国、韓国、台湾のお客様が多いのですが、伸びを見ると、200%増という国があります。カナダ、オーストラリア、シンガポール、マレーシア、インドネシアという国々です。単価が高い欧米のお客様も、数が多い東アジアのお客様も、静岡県にとっては、ともに重要です。

富士山静岡空港は、コロナ禍で国際線ゼロの時期もありましたが、大分持ち直し、現在は国内線では札幌、福岡、出雲、鹿児島、熊本、那覇の6路線で週に60~70便飛んでいます。国際線はソウル、上海、杭州、香港の4路線で週17~21便飛んでおり、搭乗率は75%近くで、路線としては安定しています。もともと飛んでいた台湾は現在、チャーター便ですが、定期便に変えていくことが急務です。東アジア中心の静岡空港ですが、今後は東南アジア、南アジア、特に静岡県はインドとの交流を深めていますので、こういう地域も含め、観光以外に、教育や経済の分野でも市場を広げていきたいと考えています。

モノ消費からコト消費へ

訪日外国人の消費動向を見てみましょう。2023年は5.3兆円、速報値で24年は8兆円強と急増し、過去最高となっております。訪日客が増え始めた2015年頃、中国客の爆買いというのが注目されましたが、それ以降、インバウンドは急増し、経済効果について観光庁も強気になり、2030年までに6千万人、経済効果15兆円というかなりの数字を目指すとしています。訪日外国人のビジットジャパン計画(訪日客2千万人目標)を策定した時よりもはるかに増えており、日本が安全で楽しめる国だと

ということが浸透していると思われます。

実際に何に消費しているかといえば、食やショッピングの“モノ消費”が中心ですが、最近の傾向では、日本の酒を楽しむ、歴史や伝統文化を体験する、美術館博物館や動植物園を訪れるという、いわゆる“コト消費”が傾向として見えてきています。日本経済における訪日外国人の消費額は非常に大きく、品目別輸出額を見ると、17兆円強の自動車産業には及ばないものの、半導体、電子部品、自動車部品産業等を上回り、第2の輸出産業に成長しています。観光という輸出産業には、最近話題の関税がかからないものなので、今後の伸びも期待できます。

■ 持続可能な観光地域づくりとは ■

インバウンドを呼び込む観光地づくりとして、世界観光機構で示された「これからの観光とはどうあるべきか」を見ると、持続可能な観光地域づくりとは、訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに考慮した観光、と示されています。要は、地域が持つ自然遺産や多様性の保全を図りながら観光開発を進めるということです。受け入れる地域の社会文化面を尊重しながら進めるということ。受け入れ側の雇用や収入拡大、すべての受け入れホルダーの方々が豊かになれることが、世界観光機構が定めた持続可能な観光地ということです。

それを受け、観光庁では観光立国基本計画(第4次)を策定しました。観光振興が地域社会や経済に好循環を生み、観光産業の収益力が上がり、稼ぐ産業を目指そうというもので、住民の理解を得ながら地域自然文化と観光の両立を目指し「住んで良し、訪れて良し」を基本方針に定め、サイクルを考えました。すなわち、〈地域を持続可能にする観光コンテンツ〉〈収益力を上げて地域活性化につなげる〉〈観光従事者の待遇改善〉〈住民への観光理解〉〈持続可能な観光戦略の再構築〉—このサイクルを回すことによって、観光関連業者だけでなく、この地域に住む方々と一体になるというものです。

日本版の持続可能な観光ガイドライン「JSTS-D」という指標があります。住民の意識、旅行者の満足度、人材育成、ICTの活用といった指標のもと、全国で38地域が認証を取得し、このうち国際認証は16地域、獲得しています。残念ながら本県では

熱海市のみです。これを取得することによって、観光地域としてのステータスを高めることができ、各地域が連携しながら、こういう認証を取りに行くというのが地域づくりには重要だと思われます。

■ インバウンドマーケティング ■

インバウンドマーケティングについて考えてみます。大きく分けると市場別に中身を考えるということ。小山町で5ツ星ホテルが3つできるというのは大きなインパクトがあります。いわゆる富裕層向けの高付加価値の受入施設ですね。自然体験やアドベンチャートラベル、スポーツツーリズムも有望です。静岡県にはサッカー、プロ野球、ラグビー等、プロスポーツチームがかなりの数があり、地域との連携を考えてくれています。昨年度誕生したプロ野球のくふうハヤテは、静岡市に拠点がありますが県内各地の市町と提携し、スポーツを通じた地域づくり事業を展開します。

MICE(マイス)とは2015年ぐらいから注目されているマーケティング戦略です。

たとえば効果の高い会議や報奨旅行を、静岡県内のコンベンション施設にも誘致し、会議にはアフターコンベンションが必ずつきますので、学会や会議に集まる訴求力のある方々を県内観光に呼び込むという戦略です。昨年、この富士スピードウェイホテルで会議をやったときは、紅葉の中に真っ白な富士山が見え、地元静岡県民もびっくりするほど感動しました。

市場別のマーケティング戦略をみてみましょう。

宿泊日数の短いショートホールのお客様は韓国・台湾が中心で、非常にリピーターが多い。中国人は沿岸部中心だったお客様が、だいたい一回りし、今は内陸部からのお客様も増えています。収入も上がっていますし、ビザの緩和で増えてくるでしょう。リピーターとビギナーが混在するため、その対策一特に高所得者対策を同時に考えることが肝要です。

東南アジアからの訪日客ではシンガポールが増えています。初訪日が多いので、訴求力の高いコンテンツが必要です。ロングホールのお客様は欧米中心で、東アジアのお客様が5泊ぐらいだとすると、欧米だと11~12泊ぐらいになります。アメリカや

オーストラリアも、リピーターとビギナーが混在しています。未訪日が多いのはヨーロッパですね。中東や南米もターゲットにしなが、市場別、目的別に商品やコンテンツを発信することが重要です。

■ キャッシュレスー 観光を経営的に成功させる重大要素

では地域はどうすればよいのか。日本の魅力や提供価値といえ、日本の自然と、自然に根ざした文化です。

- ① 自然を楽しむアウトドア
- ② 豊かな生物多様性
- ③ 自然環境に配慮した宿泊施設
- ④ 自然風土に根ざした食文化
- ⑤ 古来から続く温泉・湯治
- ⑥ 受け継がれる日本の信仰
- ⑦ 伝統的地域・文化財への宿泊
- ⑧ 地域に根づく伝統芸能
- ⑨ 受け継がれる祭り
- ⑩ 匠の技・伝統工芸

といった項目が挙げられます。やはり、日本が好まれるのは自然が豊かで安全だということ。これを念頭にまちづくりを考えていきます。

地域で実施すべき観光地経営(ディスティネーションマネジメント)を考えてみましょう。観光経営は企業、住民、自治体が一体となってやるのが重要です。海外のお客様は大半がキャッシュレスです。たとえば中国ではコンビニではお札が使えないところも多くなっています。キャッシュレスへの対応が急務になります。私が静岡空港に居た2015年頃、中国路線が15本あり、当時からウィーチャットペイに対応しなければ買い物してもらえないという状況でした。デビットカードに対応する設備投資は莫大なものでしたが、今はアプリをi-Padで読み込めば対応できます。こういうものを個店ごとに導入すれば、地域全体のアピールになります。合

掌造りで知られる白川郷は、4カ国語表示とキャッシュレスを先駆的に進め、成功しているわけです。

日本に入国してから出国するまで、たとえば別の空港を利用する際、その間、どう移動し、何をかうか。彼らの日本滞在中のルートの把握も重要です。インからアウト、静岡県を真ん中にして、ルートをチェックしておく。キャッシュレスに関しては、和歌山の白浜空港がかなり先進的で、入国してから白浜滞在中は、すべてキャッシュレスで買い物ができるようにしました。ただし白浜以外には広がっていないので、さらなる対策が必要です。

■ SNSによる効果的なプロモーション

静岡県が日本のどこにあるかを知っている外国人は多くありませんが、富士山を知らない外国人はいない。ただし、Fujisanではわからない、Mt. Fujiでなければ認知されないということを知っておくべきで、その上で、海外メディアの露出、海外旅行会社への周知、外国語での情報発信が重要です。これにSNSでの感動体験情報が加われば、新たなリピーターになる。今までのような、きれいなパンフレットを作るよりも効果的です。

SNSは日本では圧倒的にLINEですが、世界ではFacebookやYouTube、WhatsApp(メッセージアプリ)、中国ではWeChatが主流です。SNSは世界で47億人以上が利用しています。SNSで情報を認知をし、検索して来店し、良ければSNSで発信する。検索、認知、興味、共感、行動、記憶とつながり、リピーターとなるのです。



Googleビジネスプロフィールをご存知でしょうか。

Google検索機能で、「小山町ランチ」と検索すると、この周辺の情報が出てきます。海外客はこれで調べます。Googleに登録しなければなりませんが、ユーザーが位置情報を入れておけば、行ったところがこまめに出てきます。

静岡県の観光要素を盛り込んだ 富裕層向けコンテンツ

具体的な商品開発事例を紹介しましょう。

東京2020オリパラで、静岡県は自転車競技の会場になりました。高付加価値のサイクルツーリズムとして、サイクリングで富士山を目指したり、お茶や伝統工芸を組み合わせるといったコンテンツが有望です。

本県には伊豆半島一周の「イズイチ」、富士山周辺の「フジイチ」、浜名湖周辺の「ハマイチ」、そして「太平洋岸自転車道＝ナショナルサイクルルート」といったサイクルツーリズムロードがあります。富士スピードウェイは、東京2020オリパラのゴールにもなりましたので、スピードウェイを自転車で走るというのも格別です。東京2020オリパラのレガシーを活かした国際大会も開催されます。2025年3月21日から23日まで開催されるFDAジャパン・マウンテンバイク・カップ2025は、日本サイクルスポーツセンター内の伊豆マウンテンバイクコースを利用し、海外招待選手を含め約100人の選手が参加予定です。

Cycling Through the Majesty of Mt. Fuji (7泊8日) というサイクリング商品は、静岡駅から富士山麓、伊豆半島をグルッと回って、各地の高級ホテル旅館に泊まり、一人65万円から。専用車移動によるIzu Luxury Sanctuary (4泊5日) は、三島スタートで、ハイキングやわさび収穫体験、グランピング等を楽しみ、88万円～とい

う商品です。修善寺1泊2日の商品(35万円～)では、温泉とわさび収穫体験を。富士スピードウェイホテルを拠点に富士山の湧水や絶景を楽しむアドベンチャーツアー1泊2日の商品(35万円～)という商品も企画されています。

ナイトタイム×ディープエクスペリエンス を磨け

県東部地域は文化施設が多く、富士山世界文化遺産、伊豆ジオパーク、世界農業遺産の伊豆わさび等の豊かな自然遺産にも恵まれ、さらにはファルマバレープロジェクトやウーブン・シティ等に高度な人材が集積しています。これら伊豆地域の特色ある地域資源をつなぎ、地域文化ゾーンを作りたいと思っています。

旧ヴァンジ彫刻庭園美術館はサンフロント21懇話会のお力もあり、新たな活用でクレマチスの丘全体は文化ゾーンに生まれ変わります。テストケースとしてさまざまな活用方法を考えていただきたいと思います。

本県が弱いのは、滞在時間を長くする取組み。いわゆる、ナイトタイム×ディープエクスペリエンスです。夕食や夕食後の時間を、地域の特性(カルチャー)とうまく掛け合わせるコンテンツづくりですね。首都圏や関西圏ではクラブのツアー等が人気で、美術館や博物館、動植物園の夜間営業、神社仏閣のナイトツアー等も実施しています。高野山では夜の高野山を僧侶が案内してくれますし、広島のア芸の宮島では能楽ツアーも人気です。

静岡県にもいろいろな要素があります。たとえば人気アニメの聖地巡礼。「ラブライブ!サンシャイン」「ゆるキャン」等は多くの若者を惹き付けます。これらポテンシャルをいかに海外に発信するかを考えていければ、と思っています。

ご清聴ありがとうございました。

〈講師プロフィール〉

出野 勉 (いでの・つとむ) 氏 元静岡県副知事、元富士山静岡空港株式会社 社長

静岡市出身。1975年に県庁入り。観光局長、文化・観光部長、知事戦略監兼企画広報部長、富士山静岡空港(株)代表取締役社長などを歴任。2020年4月から2024年4月まで静岡県副知事。好きな言葉は「出会いと交流 夢創造」。

パネルディスカッション

東部地域のインバウンドの 状況と今後

パネリスト

- 出野 勉 氏 (元静岡県副知事、元富士山静岡空港株式会社社長)
- 込山 正秀 氏 (小山町長)
- 勝又 正美 氏 (御殿場市長)
- 加藤 健太 氏 (御殿場プレミアム・アウトレット支配人)

コーディネーター

- 阪口 瀬理奈 氏 (サンフロント21懇話会TESS研究員、
静岡経済研究所特任研究員)

インバウンドと未来拠点で盛り上がる 小山・御殿場

(阪口) 基調講演では出野様より、コロナ後のインバウンド動向について、いろいろなキーワードをいただきました。これらをヒントにお話を進めてまいりたいと思います。



阪口 瀬理奈 氏

まずは小山町の込山町長にうかがいます。小山町は年間400万人の観光交流客を維持され、新しいホテルも続々と誕生していますね。小山町の観光地としての魅力を改めて教えてください。

(込山) 小山町の魅力の御紹介前に1点だけ訂正があります。400万人を記録したのはコロナ前の令和元年で、令和6年度の1月末の時点では238万2,000人となっております。

さて、小山町は富士山須走口を有しており、森林限界が2,700メートルまである登りやすい登山道で、かつては皇室もご利用されましたが、登山者数では富士宮口に負けています。

2027年度には、新東名高速道路が全線開通予定であり、既に設置されている東名高速道路足柄SA

のスマートICと、新しく新東名高速道路の小山PA(仮称)に設置されるスマートICにより、小山町へのアクセスが今まで以上に向上します。

東日本大震災を機に、沿岸部の企業の内陸部への移転を推進するため、県が内陸フロンティアを拓く事業を進め、小山町は、県内で最も多い8つの推進地区の指定を受けました。その内3つの大きな事業を三来拠点事業と名付け整備を進めてまいりました。

その三来拠点事業の1つであります、新東名高速道路小山PA(仮称)周辺地区では、現在、モータースポーツフォレストの建設が進んでおります。

先ほど、挨拶の中でも申し上げましたが、小山町は現在ホテルブームで、本年7月には、須走地区に強羅花壇富士がオープンする予定であり、2028年には、5つ星レベルのホテルであるアクアイグニス小山の建設が始まる予定です。

小山町の宿泊者数は昨年1年間で約18万人でしたが、うちインバウンドは13万人余ということで、76%がインバウンドでした。

須走地区には、富士美華リゾートというホテルがあり、台湾人オーナーのもと、宿泊客の96%がインバウンドであります。ここ富士スピードウェイホテルでは、インバウンドが、約半分くらいと聞いております。このように、小山町は、今多くのインバウンドの方に来ていただいております。

また小山町には、年間50万人を超える観光交流



込山 正秀 氏

ICを利用して御殿場アウトレットに行かれるお客様も、現在建設している町道を利用し、足を運んでいただけるのではないかと皮算用をしています。

さらに、モータースポーツフォレストは、2026年の富士スピードウェイ60周年に間に合わせるよう急ピッチで整備を進められるとのことですので、ここもまた、新たな観光交流客数の増加に寄与するものと期待しております。

(阪口) 御殿場市の勝又市長、いかがですか？

(勝又) 小山町長が御殿場からインバウンドを呼び込むという話をされましたが(苦笑)、町長とは仲が良いのでご安心ください。

御殿場市は御殿場プレミアム・アウトレットをはじめ多くのインバウンドが訪れており、静岡県ではトップクラスです。御殿場市は富士山と箱根外輪山に囲まれた自然豊かな場所で、夏涼しく、スポーツ団体の合宿にも多く利用されています。

御殿場は箱根や伊豆、富士五湖など著名な観光地を繋ぐ交通の要所に位置し、年間宿泊者数は110万人。政令市を除くと熱海市、伊東市に次ぐ3位です。

特産品は、富士山の恵みである水をテーマに、御殿場コシヒカリ、わさび、水かけ菜、お酒がそろい、とくにお酒は、日本酒、ビール、ウイスキー、ワイン、焼酎、どぶろくまで、地産のものが盛りだくさんです。全部そろえてお祭りをやりたいし、これから作る道の駅的施設も、酒ミュージアムにしようかと思うくらいです(笑)。

東山地区は別荘文化が栄えた場所です。日本の歴史文化がインバウンドのテーマになる。1市や2市で取り組むには限界があるため、広域的にやって

客数が、富士スピードウェイ、富士霊園、道の駅ふじおやまにいらしており、町内のゴルフ場11施設には令和5年度42万人を超える方が来場されました。

今後、アクアイグニス小山の大型観光複合施設ができれば、足柄スマート

いきたい。富士山の恵みや豊かな自然も、広域でそれぞれの市町と連携してやっていきたいと考えています。若者からの情報発信も取り入れたいですね。

御殿場市ではホテルが増加しており、大型商業施設や令和8年4月に開館する新図書館・資料館を周遊するプランも考えています。太平洋マスターズの開催時は、ゴルフ関係者でホテルが満室になります。このような大きな催事では周辺市町との連携も必要だと実感しています。

富士山に近いアウトレットの強み

(阪口) 御殿場プレミアム・アウトレットの加藤支配人、いかがですか？

(加藤) 御殿場プレミアム・アウトレットの概要ですが、2000年7月にランドオープンし、今年で25周年になります。小田急御殿場ファミリーランドの跡地に整備し、これまで3回増設をしました。2011年の震災、直近のコロナ禍



加藤 健太 氏

の影響を受けながらも、23年度は来場者1,100万人を超え、今年度はそれを上回っています。

インバウンドに関しては、御殿場という立地に恵まれ、ゴールデンルート上にあるということで、2004年香港の観光ビザ解禁を機に増え続けています。社内では14年から18年までインバウンド専属チームをもうけ、アジア諸国へのセールスもかけました。今もアジアの専任担当者を置き、認知拡大を図っています。

成長の背景にはゴールデンルート上にあることに加え、富士山の麓にあるという強みがあると思います。これを踏まえ、出店テナントは国内外の著名ブランドが出店に値する価値があると判断していたことが大きいですね。そのような評価を頂いている一例として、レディ・ガガが主演した映画『House of Gucci』では、Gucci一族が事

業計画を話すシーンで、「富士山周辺の御殿場への出店」という台詞も登場します。

昨年度のインバウンドは56万人プラスαのご来場がありました。α（個人客や小グループ）の数は把握できないのですが、こちらのほうが多いのでは、と実感しています。東アジアが多く、中国、台湾、香港が上位。直近では東南アジアのタイ、インドネシア等。春先のサクラのシーズンはタイやインドネシアの数が中国と同じぐらいでした。

日本の冬の雪も人気で、イエティに立ち寄りついでにアウトレットに寄るというツアーも何件ありました。南半球からも増えています。

コロナの前後を見ると、中国団体客が減り、個人客が増えました。以前は団体バスで連れてこさせられている感のある中国人客をよく見かけましたが、大分変わりました。マナーも良くなったように感じます。円安で全体的に購買意欲が伸び、価格のメリットも感じてもらっているようで、中国人に限らず、いろいろな国の方々が多くお買い物をしてくださっています。

(阪口) マナーが良くなったというのは？

(加藤) リピーターが増えて、日本のルールを承知している、それなりの高所得層が増えているということでしょうか。

(阪口) コロナを機にかなり変化しているようですね。

(出野) 静岡空港は2015年に中国路線だけで15本ありました。観光バスは10～15台並び、ほとんどが県外ナンバーのバスでした。今は少人数のお客さんが増えて、SNSを使って自分が行きたいところに行って好きなモノを食べるというスタイルです。

爆買い当時、静岡空港の免税店は電子ジャー等の電化製品を含め、15億円売り上げました。地方空港の免税店ではあり得ない数字でしたね。そういうのは明らかに減り、モノ消費からコト消費となり、娯楽サービス体験型が増えている。といってもアメリカに比べたらまだまだ低く、アメリカでは13～14%が娯楽サービス体験に費やしているのに対し、日本はまだ5%程度です。

小山・御殿場の体験コンテンツ

(阪口) 小山町や御殿場市で、おすすめの体験コンテンツはありますか？

(込山) 金時山のハイキングや富士箱根トレイルはいいですね。また、須走口5合目から少し歩いた所には、「まぼろしの滝」という雪解けの時期にしか見られない滝があり、6月はシャクナゲも綺麗で素晴らしい。

私の選挙時のマニフェストには、道の駅すばしりから須走口5合目の間にモノレールの敷設を検討することを掲げております。自然を傷めない方法で検討を深めているところでございます。

(勝又) 二子湧水の里には農家民宿があり、最初は日本人の観光客が多かったのですが、今は主にアジアのお客さんでいっぱいです。その周辺にはスポーツ体験施設も多い。

御殿場市は武道のまちでもあります。御殿場西高等学校や自衛隊など強豪団体がありますから、武道が一つのキーワードにもなる。外国人にも武道は人気がありますから、武道体験も有望ではないでしょうか。

もう一つ、御殿場市は3つの駐屯地があるまちです。駐留米軍の人は、外国人にもわかりやすく、利用しやすい特定の店に通うようです。そういうお店をもっと増やすことも必要ですね。JRは御殿場線に入るとSuicaが使えなくなるので、これはなんとかしたい。



勝又 正美 氏

(阪口) わかりやすいという店はメニューが英語だとか？

(勝又) メニュー表記もそうですし、彼らが好む肉料理などのメニューを充実させたり、しっかりPRすることが大切です。

(阪口) 長期間滞在がポイントになりますか。

(出野) 長期ならば、一カ所ではなく県内を移動してもらえるので、電車ではなく自転車での移動をおすすめします。サイクリングする人は、単純に走れば



出野 勉 氏

いいというものではなく、途中の休憩所やパンクを修理できる場所が必要で、スルガ銀行は自販機にパンク修理器具を入れてくれました。

サイクルスポーツは台湾がとくにさかんで、GIANTという世界トップの自転車メーカーが、日本にユーザーを送り込んでくれています。

(阪口) 小山、御殿場から伊豆へとサイクル観光ルートが広がりそうですね。モータースポーツはこれからどうなりますか？

(込山) 実は昨年6月にフランスのル・マン市に行つてまいりました。その理由ですが、日本が誇る国際的なサーキット富士スピードウェイがある小山町と、世界的に有名な24時間耐久レースが開催されるサルトサーキットがあるル・マン市と世界にモータースポーツの魅力を発信していこうと言うことで友好協定を結ぶお願いに行つてまいりました。

その結果、昨年11月16～17日にはル・マン市の副市長が小山町へ来てくれて、小山町と協定を結びたい旨の報告をいただき、今年7月に開催されるル・マンのクラシックカーレースに招待され、そこで協定を結ぼうということになっています。

また、これから更にモータースポーツを盛り上げるために、富士スピードウェイの社長には、一般道を利用するル・マン24時間レースと同様にコース場外に出て小山町内を走ってくれとお願いしているところ

(勝又) 御殿場市には多くのモータースポーツチームの拠点があります。昨年、富士スピードウェイでのモータースポーツイベントに合わせ、小山町、裾野

市とともに、モータースポーツ振興と地域活性化を目的とした、「地域連携パートナーシップ」を締結しました。モータースポーツにおける役割分担について確認をしたものです。

モータースポーツの大きなイベント時には、御殿場市内のホテルも一杯になります。熱狂的なファンが多いので、レースだけ見て帰るとい人も多いのですが、そういう人を滞在させる方法も考えたい。

(出野) 年に数回、何万人と集まるモータースポーツ大会がありますが、レース会場近くにテントを張つて終わったらそのまま帰るとい人が多いですね。せっかくなら、的確な観光情報を発信したい、と思います。

富裕層対策と二次交通の重要性

(阪口) 地域間連携についてお聞きします。広域で取り組みたいことはありますか？

(勝又) この地域は富士山という世界ブランドがありますから、世界に発信していくには、周辺地域が連携して発信することが肝要で、先日、伊豆の国市とも観光交流協定を結びました。富士山で一つになることが大事です。

(込山) 富裕層対策ですね。いかにこのエリアでお金を使ってもらうか。小山町では、今年になりまちづくり公社を設立しました。まちづくり公社ではDMOにも取り組んでもらう予定です。小山町に泊まってくれたのなら、他でも積極的に消費していただきたい。

(加藤) コロナ明けから団体より個人で都内や河口湖、箱根から直接来られる方が増えています。この周辺に宿泊され、自由に行動される方が増えていますね。直行バスは、往路は満車でも復路は空いているというケースが増えています。宿泊先は都内に限らず、このエリアにも増えていると実感しています。

(阪口) どういう仕掛けが有用ですか？

(加藤) わかりやすい、利用しやすいということですね。ビジネス仕様のホテルが増えている印象ですが、

大型のラグジュアリーホテルやファミリー向けのホテルが増えると、5～10人のグループ、ご家族連れのお客様が来るきっかけにもなると思います。

(阪口) レンタカー利用者は多いのでしょうか？

(出野) 中国のお客様は国際免許が取れないので、レンタカーは使えません。その意味でもバスやタクシー等の二次交通が非常に重要です。東京から河口湖に来て泊まりたくても、バスがありません。宿泊者が三大都市圏に集中するのは、二次交通が発達してい

るからで、地方ではバスやタクシーの運転手も不足しています。

対策のひとつは、県も実証実験をやっているMaaS(Mobility as a Service)。ワンストップサービスでできる二次交通です。自動運転もいくつか実証実験を始めています。静岡空港から島田駅までやってみないかと提案したこともあります。

MaaSは下田から静岡空港まで実験したのですが、交通事業者間で決済方法が異なるため、難しかったですね。富士スピードウェイ～アウトレット間など、自由に移動できる二次交通があれば、と思います。



(阪口) お時間になりました。貴重なお話ありがとうございました。

—〈出演者プロフィール〉—

込山 正秀 (こみやま・まさひで) 氏 小山町長

1987年5月小山町議会議員に当選。1995年4月静岡県議会議員に当選し、4期16年。2011年5月小山町長に当選。現在3期目。静岡県町村会会長、駿東郡町長会会長に就任。

勝又 正美 (かつまた・まさみ) 氏 御殿場市長

1955年生まれ。御殿場市出身。78年東京都立大学※経済学部卒業後、御殿場市役所へ入職。企画部長、教育部長を経て、2018年に副市長に就任。43年間職員として勤務した後、21年御殿場市長に就任。現在1期目。※旧東京都立大学(1949年～2011年)。2020年に首都大学東京から改名した現大学とは別。

加藤 健太 (かとう・けんた) 氏 御殿場プレミアム・アウトレット 支配人

2003年チェルシージャパン株式会社(現三菱地所・サイモン株式会社)入社、国内4施設や本社にてプレミアム・アウトレットの運営管理、販売 促進など幅広い業務に携わる。2024年4月より現職。

阪口 瀬理奈 (さかぐち・せりな) 氏

サンフロント21懇話会のシンクタンクTESS研究員、(一財)静岡経済研究所 特任研究員、(公財)静岡県産業振興財団ふじのくにICT人材育成プロデューサー 京都大学大学院卒業後、三菱総研を経て2018年に静岡県に移住。ICT人材育成をテーマに県内企業を支援中。

サンフロント21懇話会

2024年度 第30回 全体会

日時 2024年12月18日(水)

会場 沼津リバーサイドホテル



サンフロント21懇話会は2024年12月18日、沼津リバーサイドホテル（沼津市）で2024年度全体会を開催した。本年度の活動経過報告と来年度方針案、30周年記念事業等について説明があった後、記念講演では一般社団法人日本ほめる達人協会顧問の松本秀男氏が、「組織も家庭も、悩みごとまで、ほめて解決！ほめる達人セミナー」と題し、徹底的に人の価値を見つけ、人と組織を動かし、業績を上げ、しかも家庭まで元気にする“ほめる達人”になるヒントを紹介した。

主催者挨拶



静岡新聞社・
静岡放送社長
大須賀 紳晃

本日はお忙しい中、第30回全体会に多数の皆さまにご参集いただき、誠にありがとうございます。今年一年を振り返ると、夏の猛暑がまず頭に浮かびます。7～8月の県内主要観光施設の入込み客数は合わせて425万人余、55カ所の海水浴場には76万人余の集客がありましたが、連日の猛暑の影響で客数は昨年より減少しました。南海トラフ地震臨時情報の影響もあろうかと思えます。

地球沸騰時代といわれる中、県東部・伊豆地域は、今後、夏の猛暑をどう乗り切るか、来年以降の大きなテーマとなるでしょう。

本日は、日本ほめる達人協会顧問の松本秀男氏に講演をいただきます。ほめて解決するという考え方は、皆さまのビジネスにとってもお役に立つお話だと思います。

当懇話会は2025年6月12日に30周年記念総会を予定しています。ここまで継続してこられたのも会員の皆さまのご支援ご協力の賜物であります。改めて感謝申し上げるとともに、さらなるご協力をお願いし、主催者のご挨拶とさせていただきます。

懇話会代表幹事挨拶



静岡中央銀行
代表取締役会長
清野 眞司

本日は年末ご多忙の中、多くの皆さまに足を運んでいただき、感謝申し上げます。

2024年の経済界を振り返ると、明るい話題としては日経平均株価やNYダウ平均株価が史上最高値を付け、日経平均は7月11日に42,343円まで上昇しました。その後は落ち着きましたが、年初より5,000円高い、38,000円超えで推移をしています。またNYダウは安定した上昇傾向でしたが、米国大統領選挙の結果で上下動が続いているようです。

全体としては、足元の景気は回復傾向とみられ、日銀静岡支店も、県経済動向はゆるやかに改善していると発表しています。今後は私たちの生活も、豊かさを実感できるのではと期待されますが、トランプ大統領がどのような政策をとるかを注視しなければなりません。

一方、元日の能登半島地震、8月の宮崎県日向灘地震、岸田総理退陣と石破政権発足、衆議院選での自公政権過半数割れ、米大統領選と大きなニュースが続きました。国際情勢でもロシアとウクライナ、イスラエル問題等、不安材料が多々あります。

そんな中でも、静岡県東部地域の発展のため、当懇話会はこれまでもまして実効性のある提言活動に努めてまいります。

県東部をより活力ある地域にするためには、この地域ならではの新たな発想が求められます。あらゆる機会に皆さまのご意見をいただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

開催地代表挨拶



沼津市 副市長
吉澤 勇一郎 氏

本日は当市で全体会を開催していただき、心より感謝いたしております。日頃より県東部地域活性化のため、沼津市のため、さまざまなご尽力をいただき、感謝申し上げます。

本市は沼津駅周辺整備事業が動き出しており、車両基地工事や市街地再開発事業が始動しました。多くの民間開発が動き出しており、当市の基本理念「動き出す、創り出す」がかたちになりつつあるところです。

県東部地域エリアは、非常に多くの地域資源を有しています。だからこそ地域全体で動くことが必要であると感じており、その意味で貴懇話会の活動は大変意義深いものと、期待しております。

今後のさらなる発展とご多幸を祈念し、挨拶とさせていただきます。



記念講演

組織も家庭も、悩みごとまで、 ほめて解決！ ほめる達人セミナー

講師

一般社団法人日本ほめる達人協会 顧問

松本 秀男 氏



ほめ達は、お世辞やおだて、ではない

「ほめ達(ほめる達人)」をご存じの方、いらっしゃいますか。

ちょっと怪しいワードのように思えますが、決してお世辞とか、おだてましょう、という話ではありません。私が皆様に改まってお教えすることはほとんどなく、皆さまがすでに実践されていることを、ほめ達として定義づけてみようということです。

私は現在、ほめ達の講演を国内外で行っておりますが、それ以前は、AIGという外資損保会社に在籍し、入社したのはリーマンショック直後でした。

会社全体の業績が悪化する中、“自信と誇りを呼び戻そう”というキャンペーンのようなことを1年半ほど、やってみました。創立して70年ほどの会社ですが、この会社の良さや商品の素晴らしさとは何かを、もう一度確認しようという運動です。

当時は1万人ほど社員がいて、他の部署が何をやっているのかよくわからない。そこで、あなたの部門の自慢をしてくださいと呼びかけました。たとえば学校保険を担当している部署があり、全国の7割のシェアがあって、それだけの生徒さんたちを守っていると知って、「これは自慢できる、ほめましょう」とアピールした。こういう活動を1年半続けたら、社内がざわざわし始め、V字回復の一助となりました。

ガソリンスタンドのアルバイトをほめる

AIGに入る前は、実家の家業を手伝っていました。東京の北千住で父が経営する小さなガソリンスタンドです。ガソリン単体ではなかなか利益が出ず、バイトを雇って細々やっていたのですが、そのときも、ちょっとほめるということを意識しただけで、空気が変わりました。

その中に女子高校生のアルバイトがいました。フルサービスの店だったので、いろんなことを教えるのですが、なかなか伝わりません。

ある日、お客様の車の窓を、私が運転席側から拭き、彼女が反対側からタラタラと拭いていました。彼女は、窓の端っこにくると、キュッと拭き上げる。それを見て、ほめるわけでもなく単なる感想として「端っこ、きれいに拭くね」と言ったら、彼女の口角が、ちょっとだけ上がったのです。

「お母さんが、掃除は端っこが大事だって言うから」と答えたので、私が「いいお母さんだね」と言ったら、次の日から、彼女の態度が変わりました。とても熱心になり、チャーミングな笑顔を見せるようになり、彼女目当てのお客さんも増え、3ヶ月後には新しいバイトの子を指導できるまでになりました。ちょっとほめるだけで、これだけ人は変わるんだ、と実感しました。

ただよくよく考えてみると、私の方が、彼女のこと

を「やる気のない、能力のない子」と勝手に思い込んで、心に垣根を作っていたのではないかと思います。「いいお母さんだね」の一言で私の心の垣根がとれたのです。相手とまっすぐに向き合い、ここから素直な気持ちを伝え合う、これが大事なんです。

さだまさしさんは“ネイティブほめ達”

父から継いだガソリンスタンド経営はダメになり、45歳で行くところがなくなり、拾ってもらったのが外資保険会社の営業職でした。企業向けの保険で、難しい商品なので簡単には売れず、妻子を抱える身で、月収2,000円、なんてときもありました。そこで、バイトの彼女のときのように、言葉を換える、ほめてみる、ということを意識したところ、少しずつ成績が上がりました。

家業のガソリンスタンドに入る前は、歌手のさだまさしの制作会社にいました。さださん自身が、もともと、ほめる達人。ネイティブほめ達なのです。

私が大学を出てさださんの事務所に入ったとき、さださんは28歳で、中国で『長江』という映画を作り28億の借金がありました。その負債を返すのにしゃかりきになってコンサートをやっていました。そんな中でも、さださんは、我々をちゃんと、ほめたり、ねぎらったりしてくれるのです。会社のトップがそういう人だと、この人のために頑張ろうという気持ちになりますよね。忙しくてもピリピリするような空気が、社内にはありませんでした。

協会ミッション 「誰もが尊敬し合える世界にする」

ほめる達人協会の事業には、2つの大きな柱があります。

ひとつは、ほめ達検定。漢字検定みたいなもので、オンラインでも受験できます。予備知識も不要で、誰でも受験できる、楽しい検定です。現在76,191人の合格者がいます。多いのか少ないのかわかりませんが、ゼロから始めた検定ですから、頑張っただけで増やしていきたいと思っています。

もう一つは講演活動や企業研修活動です。

ほめる達人協会には、ミッションがあります。「誰もが尊敬し合える世界にする」というミッションです。ウクライナでもイスラエルでも辛いことが起

きていますが、国と国、人種と人種、国のリーダー同士が尊敬しあえたら。部下が上司を尊敬し、上司も部下を尊敬し、会社がお客様を尊敬し、お客様がサービス提供者を尊敬できたら。何より自分自身を尊敬できれば、いい世の中になるはずですよ。

覆面調査で見つけたポイント

ほめる達人協会は、もともと経営コンサルティング会社が母体で、覆面調査をやっていました。消費者のふりをしてお店や事業所を調査し、改善点を調べて提言し、顧客満足度を上げるというものです。

結論から言えば、いくらクライアントのために調査し、改善点をあげても、よくならなかった。ここを直してくださいと提案しても、また別の改善点が出てきたり、一度改善したところがまた問題を起こす。モグラたたきの状態で、コンサルの存在意義がわからなくなりました。

そこで、調査方法を変えてみました。欠点ではなく長所の覆面調査を試みたのです。「ここが素晴らしかった」という点を、最低20個見つけてレポートに書こうとしました。

ただ、人間というのは、ダメなポイントを見つけるほうが早くて、ほめる20個を見つける前に、ダメな100個が見つかってしまいます。そこで、ほめる20個と、ダメな100個のうち、すぐに直せそうな2個を挙げてみた。そうしたら、2個が改善したばかりでなく、残り98個も勝手に良くなったのです。

仕事が「遅い」ではなく「丁寧」

大阪発祥の焼鳥チェーン店『鳥貴族』で、覆面調査と研修をやってみたら、3ヶ月で全店舗の売り上げが対前年比120%増になりました。中でも、天神町筋三丁目店は160%強になった。ちょっとほめただけで6割も売り上げが上がるのかと、不思議に思われるかもしれませんが、これが非常にシンプルな話です。

この店を調査したとき、ある女性アルバイトをほめました。彼女は、客が帰った後、忘れ物がないかチェックし、丁寧に後片付けをした。その丁寧さが、このお店の魅力に見えました、とレポートに書いた

ところ、店長さんが、びっくりした。その子は、店長から見ると、仕事が遅くて、仕事覚えも悪い、どちらかといえばマイナス評価の子だったからです。

店長は彼女にあやまり、「あなたの丁寧さがお客様にとって、店の魅力に見えるから、その丁寧さをこの店の基準にさせて」と言ったら、彼女自身、次第に仕事のスピードが上がるようになり、物覚えもよくなり始めた。彼女のことを気にしていた他のスタッフにもプラスの影響があり、結果としてお客さんが増えた。すると、スタッフの離職率が下がり、採用経費が下がり、最終的に売り上げ増、となったわけです。

こころのコップが上に向いていたら

スカイマークは、2015年に一度経営破綻し、2年後に再建し、定時効率(時間通りに発着する率)も航空業界ナンバーワンになりました。組織内の風通しがよくなったんですね。今まで報告しないような小さなトラブルも報告し、共有し、大きなトラブルが起きなくなった。ナンバーワンになった背景には、「ほめ達」が役に立ったのです。

自動車教習所は、少子化で、若者の車離れもあって、生徒数が激減している大変な時代です。ところが、三重県伊勢市の郊外にある教習所は、ここ3年で生徒数が倍になりました。教官は全員、ほめ達の3級以上で、生徒を一生懸命褒めるだけでは、「ほめ達」のことが世の中に伝わらないと、「ほめちぎる教習所」という看板まで作りました。

脱輪してもほめる。「すぐにブレーキ踏んだのでよかった」とほめる。テレビで取材を受け、「ほめて甘やかされたドライバーで大丈夫か」と、テレビのコメンテーターから言われたそうですが、三重県警のデータによると、この教習所出身者は、卒業検定の合格率が右肩上がり、事故率が右肩下がりだと判明しました。

正しいことを学んでも、叱られたり批判され続けていると、こころのコップを下にしてしまう。まずはほめて認めることで、こころのコップが上に向いていれば、知識でもマナーでもきれいに注ぎ込むことができる。そういうことを、この教習所は証明してくれました。

最初はビジネスに役立つコミュニケーション理

論として始めた「ほめ達」ですが、どんな業種業態、どんな地域でも通用し、今では、子育てや夫婦円満にも通じることがわかっています。

コンサート機材運搬ドライバーから教わったこと

お世辞でも、おだてでもない「ほめ達」は、とてもシンプルに定義しています。すなわち、「価値を発見し、伝えること」。何の価値かといえば、3つあります。人・モノ・出来事の価値を発見して伝える、ということです。

まず、人の価値。「ほめ達」の域になると、人の欠点や短所にも価値を見つけられるようになります。鳥貴族のアルバイトの女性のように、仕事が遅い、ではなく、仕事が丁寧。丁寧さにスピードが伴っていなかっただけで、彼女の丁寧さは大きな魅力であり、彼女の成長につながりました。

次いでモノの価値。仕事で扱う商品やサービスや役割。世の中にとって、どんな価値があるかを、言葉にして周りに伝える、ということです。

私が、さだまさしさんの仕事を始めたきっかけは、大学4年のとき、アルバイトでコンサートツアースタッフについたことです。いきなり九州ツアーに参加し、都城、大分、福岡、長崎、鹿児島を周りまわりました。

入って5日目の日、大分から博多まで移動の日、私の分のチケットが取れていなかったのも、機材を運ぶトラックの助手席で移動することになりました。ドライバーは、コンサート機材運搬専用会社の太田さんという人です。アルバイト5日目の緊張した私は、変に気を遣って、「太田さんの仕事って大変ですね」と余計なことを言ってしまいました。

ペーパーのバイトに気を遣われたのが癪にさわったかもしれませんが、太田さんは、とてもいい人でした。彼は「大変じゃないよ。運んでいるモノは機材かもしれないが、コンサートに来るお客様に届けているのは感動だよ」と言ったのです。機材が届くことでコンサートができる。それを聴いてお客様が感動する。それを自分は届けている。そんな思いで仕事をしていると、学生のバイトにすぎない自分にも教えてくれたのです。気持ち次第で、仕事の質は大きく変わると、再定義してく

れました。

三つ目は出来事の価値です。もちろん、いい出来事なら価値を発見しやすいのですが、ピンチやトラブルやクレームにも価値があったとしたら、どうでしょうか。

皆さんも振り返ってみてください。ピンチやトラブルのときに、価値を見つけられたら、何かしら小さな成長につながる、と思いませんか。そこで、ベストな解決方法が見つけられたら、未来の自分たちに対する、大きな成長のプレゼントになるでしょう。

私たちは、よくないことが起きたら、「これは何のチャンスだろう」と考えるようにしています。「ほめ達」とは、価値発見の達人です。価値発見の達人になれたら、誰が幸せになるかといえば、自分自身です。

ほめ達の3つのD

ひとつだけ注意点があります。それは、「ほめる」を相手のコントロールに使わないということ。ほめて仕事させる、ほめて子どもに勉強させる、というのは逆効果です。

昭和の時代ならいざしらず、今の時代は、ほめるだけで人を変えることはできません。影響を受けて自ら気づき、自ら変わることがあっても、人に変えられることはないのです。

ほめるとは、自己完結です。ほめて何がいいかといえば、ほめると、自分の心に余裕が生まれるからです。余裕が無ければ、他人をほめることはできませんよね。

少し脳科学的な話をしましょう。この言葉を言わないだけで、脳が活性化できるという「言葉の3D」ってご存知ですか？「でも」「だって」「どうせ」の3つです。これを言った瞬間、脳はカロリーをものすごく消費するので、エコ装置を発動し、考えることをやめてしまいます。

ほめ達的に、Dを使うなら「だからこそ！」「どのようにすれば？」「できそう！」です。

2019年にLAで講演したとき、受講者の3分の1がビバリーヒルズの住民でした。彼らには共通する口癖があった。それは「かんたんよ」。何事も簡単にできそうな空気がありました。私たちの脳というのは言語によってプログラミングされており、

いいインプットを投げかけると、脳はそれに反応すると実感しました。

ほめる=応援すること

上司が部下を、いざほめようとする、ほめにくい、上から目線になるのでは？という声も聞きます。

しかし、解決策は皆さんの中の、ほめられた記憶の中にあります。言われて元気になった、パワーが出た、という言葉の記憶。小さなことでもいいから書き出してみてください。

ほめられた記憶を思い出してみると、ほめるって意味が広いと気がつきます。成績をほめられただけでなく、ささやかなことでも、認められた、感謝された、尊敬された、応援してもらった、喜んでもらった、ねぎらわれた、応援された、ということがあるでしょう。相手がほめようと思って言ってくれたかどうかは、さだかではないが、受け取るこちらは「ほめられた」と感じた。そんな言葉をプレゼントすればいいのです。

ほめる姿勢とは、応援すること。応援するとは、結局のところ、相手を大切にすることです。

心の報酬とは「ねぎらい」

人は成長したいと願うもの。成長の先にあるのは、誰かの役に立つこと。人には、成長の欲求と、貢献したい欲求がある。それが心の報酬になるのです。

心の報酬とは「成長と貢献の実感」です。心の報酬とは、平仮名4文字で表現できます。それは「ねぎらい」。

ねぎらいの一言は、私たちはどうも忘れがちです。できて当たり前、仕事なんだから当たり前という思いが前提にあるからです。

「ありがとう」の反対語は、「当たり前」ではないかと思うこともあります。定時に出勤するのは当たり前。だが9時に着くまでの努力や工夫がある。当たりのレベルが上がり続けるには、「ねぎらい」が必要です。

ほめずにほめる3つの方法

最後に、ほめずにほめる3つの方法を紹介します。

1つは挨拶。挨拶するとき、二言を心がけます。「おはよう」だけでなく、「おはよう、今日は寒いね」。この二言目は、相手を見なければ出てこないでしょう。言われた人は、自分をちゃんと見て挨拶してくれているとわかります。スカイマークは羽田で二言挨拶を全員で実践しました。

2つめは目で握手。なんとなく相手を見るのではなく、握手をするように目と目を合わせる。たったこれだけのことで、コミュニケーションがはかどります。ただし、あくまでも、さわやかにやりましょう。女性の部下から「上司にねっとり見つめられた」なんて誤解されたら困ります（苦笑）。

3つめは話の聞き方。目を見る、うなづく、相づちを打つ、くりかえす、メモをとる、要約する、質問する、感情を込める。全部覚える必要はありません。

んが、これらを、いつでもどこでも誰にでも出来るように心がけましょう。

マザーテレサは「愛の反対語は、無関心」と言いました。関心を持つということが、大きな意味でも愛、なのです。

コミュニケーションは量と質です。質のいい褒め言葉を言いたいが、ふだん使わないような、気の利いた褒め言葉はいきなり言えませんから、小さなプラスのアクションを心がけてほしいと思います。「ほめ達」を、アプリのように心にインストールしておいてもらえたら、と思います。使わなければ何の力も出ませんが、使えば魔法のような力を発揮できます。

ご清聴ありがとうございました。



〈講師プロフィール〉

松本 秀男（まつもと・ひでお）氏 一般社団法人日本ほめる達人協会 顧問

1961年東京生まれ。国学院大学文学部卒業後、歌手さだまさし氏のプロダクションで制作担当マネージャーとして8年半勤務。その後、家業を経て、45歳で外資最大手の損害保険会（AIG）の代理店研修生に。月収2,000円のどん底から「視点と言葉を変える」ことでトップ営業へ。そして伝説のトレーナーとして部門実績を前年比130%に、さらに本社・経営企画部のマネージャーとなり社長賞を受賞するなど、数々の成果と感動エピソードを生み出し続けた。現在、「日本ほめる達人協会」の顧問。「徹底的に人の価値を見つけ、人と組織を動かし業績を上げ、しかも家庭まで元気にする、ほめる達人（ほめ達!）」として、研修、講演などで活躍。2023年4月より株式会社まさしの代表取締役専務。

ラジオマイトーク



すずき ひろあき

鈴木 弘昭氏

富士スピードウェイホテル
副総支配人
(セールス&マーケティング担当)

モットー ▶ 自分にエンジンを
かけるのは自分自身

趣味 ▶ 飲食店巡り

出身地 ▶ 東京都

開業2周年、3月末まで 特別パーティープランを用意

(令和6年12月29日放送)

お話のポイント

♠ ハイアットグループの当ホテルは富士スピードウェイに隣接し、2024年10月に開業2周年を迎えました。お客様は海外と国内で半々。海外は米国、台湾、香港、中国の順に多く、お目当ては富士山。他ホテルでは味わえない距離感が魅力です。
♥ ホテル内から「静」の富士山ビューか、「動」のサーキットビューを堪能できます。自家源泉や温水プールに加え、富士スピードウェイの体験走行やレーシングシミュレーターも楽しめます。ヴィラ5室は愛犬の宿泊が可能。庭でドッグランができます。レストランの主要食材は静岡県産。

朝食は丁子屋のとろろ汁、御殿場コシヒカリのご飯などをご提供します。アフターヌーンティーは24年11月に過去最高のお客様数でした。

◆ 25年3月31日まで県内企業限定で特別パーティープランをご用意しました。1人1万1千円(通常2万円)でご案内しています。ビュッフェ形式の食事にビールなど2時間飲み放題です。

♣ 趣味は休日の飲食店巡りです。特にお寿司は札幌まで食べに行くことも。新鮮さとコストパフォーマンスがほかとは異なり、北海道でしか食べられないネタにも出会えます。



いはら かずひろ

井原 一泰氏

富士急シティバス株式会社・
富士急静岡タクシー株式会社
取締役社長

モットー ▶ 整理整頓、時間厳守

趣味 ▶ サッカー観戦、ゴルフ

出身地 ▶ 伊東市

三島一河口湖直行バス 訪日客で好調

(令和7年2月2日放送)

お話のポイント

♠ 三島、沼津、長泉を中心に路線バス、河口湖や首都圏への高速バス、静岡県内での貸し切りバスを運行しています。2024年問題は当初の運転士不足から若干改善。夜間便減少など労務、賃金の改善が奏功した。路線バスは厳しい事業環境だが、公共交通事業者の責務としてジャンボタクシーやデマンドバス、将来的には自動運転を交えた運行体系を考え、地域貢献したい。
♥ インバウンドは好調です。高速バスは三島駅から河口湖方面への直行便が10往復20便、プラス増発もしています。平均30人の利用。半分がアジア系、3割が欧

米。富士山が間近に見える富士五湖は大人気です。西から三島駅に来てバスで河口湖へと、首都圏から河口湖に来てバスで三島駅へ、が主要ルート。観光交流人口は増えている。今後の課題は結節点の三島と沼津で回遊していただける施策です。

◆ 富士急グループとして函南の十国峠でケーブルカー、箱根芦ノ湖で遊覧船と事業展開を始めています。十国峠はテラスやモニュメント、スイーツ、キャンプ場までつくり、若者向けに「映える」にこだわっています。

♣ サッカーはJ1に昇格したエスパルスを応援しています。



えぐち じゅんいち

江口 淳一氏

日本生命保険相互会社沼津支社長

モットー ▶ 「心一つ～あなたもが
んばるから私もがんば
る共に成長!」

趣味 ▶ お酒、ゴルフ、
音楽鑑賞(主にロック)

出身地 ▶ 佐賀県佐賀市

「心一つ」をモットーに、 沼津を健康経営で元気に

(令和7年3月23日放送)

お話のポイント

♠ 昨年4月に赴任。沼津支社は県東部地域を担当しています。沼津はまさに風光明媚。富士山を目の当たりにして「すごい」と思いました。
♥ 会社全体では2016年から自治体と連携協定を結び、保険・サービス提供で「もしも」の時に地域のお客様を守ること、課題解決貢献で「いつも」地域に役立つことが営業職員活動の両輪。23年度からは地域の健康増進に向け、がん検診に関する情報提供、受診の有無とその理由についてアンケートを実施。自治体とお客様双方の行動変容につなげようと取り組んでいます。

◆ 沼津支社はバレーの東レアローズとがん検診受診を啓発したり、部活動の地域移行に向け、J3アスルクラロ沼津による地域サッカークラブ強化を支援しようとニッセイ沼津カップを検討したりしています。「フェンシングの街沼津」も企業版ふるさと納税で盛り上げます。沼津支社職員が共に成長する「心一つ」をスローガンに、25年度も沼津を健康経営で元気にするプロジェクトを前に進めます。

♣ 中学から大学までロックバンドでベースを担当。学生時代はバイトをしながら月2回ライブを開きました。今はもっぱら鑑賞です。



すぎさわ のりひと
杉澤 教人氏
株大志建設代表取締役

モットー ▶ 人間万事塞翁が馬
趣味 ▶ ゴルフ、料理、
 出会い、読書、
 映像視聴
出身地 ▶ 沼津市

「フェンシングのまち沼津」と 市民が誇れる環境に

(令和7年4月27日放送)

お話のポイント

◆公共土木工事を中心に地域に根差し、安全安心を守るという自負を持って事業をしています。地域貢献手当という特徴的な手当は、自治会やPTA、消防団などで役に就く社員をサポートします。ヤクルト1000とお菓子食べ放題は社員の花粉症対策や円滑なコミュニケーションのためです。福利厚生にも力を入れ、健康維持用の酸素カプセルはJ3アスクラロ沼津の選手にも無償提供しています。
♥フェンシングのまち沼津推進協議会会長を務めています。日本フェンシング協会と沼津市が地方拠点づくりで連携し、

2020年に発足しました。当時の太田雄貴会長は官民一体で動く沼津を高く評価。沼津で代表合宿をした女子フルーレ団体はバリ五輪銅メダルに輝き、「沼津で合宿できたからこそ」との報告をととても嬉しく思います。

◆沼津市は昭和32年の国体で沼津西高がフェンシング会場となり、昭和天皇もご覧になったのを機にフェンシングが盛んになりました。協議会発足後は競技人口が倍増しています。

♣スポンジの剣「スマートフェンシング」も人気上昇中。市民が「フェンシングのまち沼津」と誇れるよう環境を整えたい。

サンフロント21懇話会の 会員情報

■ 新たに入会された方

- ◇(株)静岡中央銀行……………代表取締役社長 小森 博史
- ◇富士モータースポーツフォレスト(株)……………主査 須山 貴行
- ◇富士山花火実行委員会(株)……………代表取締役社長 畑 道纒
- ◇(有)カネヒロ……………代表取締役社長 鷲巢 靖
- ◇(株)大志建設……………代表取締役 杉澤 教人
- ◇(株)ホンダショップ御殿場……………代表取締役社長 青野 英仁
- ◇丸一化成(株)……………代表取締役 坂倉 久慶

■ 肩書、会員の変更

- ◇(株)ゴトー……………代表取締役会長 後藤 行宏 → 代表取締役社長 後藤 久徳
- ◇(株)TOKAIケーブルネットワーク… 専務取締役 近藤 雄二 → センター長 吉野 祐輔
- ◇(株)静岡新聞社……………執行役員編集局長 石川 善太郎 → 編集局長 上原 広彦
- ◇(株)静岡新聞社……………執行役員 コーポレートマネジメント局長 柳川 実
→ コーポレートマネジメント局長 原木 雅雄
- ◇静岡放送(株)……………報道制作局長 原木 雅雄 → 報道制作局長 杉山 武博

■ 肩書の変更

- ◇飯田工業薬品(株)……………飯田 悦郎 代表取締役 → 会長
- ◇静岡放送(株)……………松浦 康弘 編成業務局長兼ラジオ局長 → 編成業務局長
- ◇(株)アウンズ・ヤナギハラ沼津支社 柳原 一貴 代表取締役社長 → 代表取締役会長

■ 所属・肩書の変更

◇TESS研究員 中山 勝 (一財)企業経営研究所 理事 → 静岡産業大学 経営学部 特任教授
〃 総合研究所 所長

■ 社名の変更

◇スルガコンピューターサービス(株) → スルガビジネスソリューション(株) ※2025年4月～

■ 社名・会員の变更

◇西日本電信電話(株)沼津営業支店 営業支店長 木野 昌之
→ NTT西日本(株)沼津営業支店 ※2025年7月～ 営業支店長 中嶋 真治

■ 会員の变更

◇米久(株)……………代表取締役社長 堀内 朗久 → 吉野 裕彦
◇(株)関電工静岡支店……………執行役員静岡支店長 高橋 昭彦 → 山中 聡
◇S M B C日興証券(株)沼津支店……………支店長 竹内 貴浩 → 樋口 俊輔
◇住友生命保険相互会社沼津支社……………支社長 新井 邦由 → 千本 信行
◇(株)フジタ富士営業所……………所長 佐々木 達也 → 加藤 秀樹
◇総合警備保障(株)沼津支社……………支社長 土山 憲一 → 平塚 友士
◇沼津情報・ビジネス専門学校……………校長 坂部 眞彦 → 三上 慎太郎
◇(株)日本政策金融公庫沼津支店……………支店長 五十嵐 邦延 → 岡田 英利
◇静岡県東部地域局……………局長 柳川 典之 → 市川 顯
◇静岡県東部地域局……………伊豆観光局長 市川 顯 → 笹野 務
◇静岡県東部地域局……………次長兼地域課長 神戸 重敏 → 大畑 英樹
◇静岡県賀茂地域局……………局長 白鳥 満啓 → 青木 克裕
◇静岡県賀茂地域局……………次長兼地域課長 白土 達夫 → 飯田 雅之
◇静岡県富士土木事務所……………所長 平井 一彰 → 佐藤 雅史
◇静岡県農業協同組合中央会中東部支所 支所長 鈴木 毅 → 望月 映延
◇静岡県富士健康福祉センター……………所長 石川 哲史 → 戸塚 康史
◇静岡県賀茂農林事務所……………所長 深野 智恵子 → 上家 信
◇静岡県下田財務事務所……………所長 神谷 明良 → 竹田 敏己
◇静岡県熱海土木事務所……………所長 佐藤 芳健 → 西原 宏昌
◇静岡県東部健康福祉センター……………所長 窪田 浩一朗 → 石田 雄一
◇静岡県工業技術研究所沼津工業技術支援センター…センター長 飯野 修 → 赤堀 篤
◇国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所 ……事務所長 辛嶋 亨 → 藤浪 武志
◇静岡県東部農林事務所……………所長 市川 浩司 → 太田 千博
◇静岡県下田土木事務所……………所長 佐藤 雅史 → 菅沼 忠嗣
◇静岡県賀茂健康福祉センター……………所長 鈴木 藤生 → 渡辺 心
◇静岡県沼津土木事務所……………所長 曾根 裕介 → 望月 靖之
◇静岡県富士農林事務所……………所長 諸田 僚 → 深野 智恵子
◇(公)静岡県観光協会 ……専務理事 望月 宏明 → 神戸 重敏
◇(株)ダイナナ……………代表取締役社長 内田 豪 → 内田 聡